

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりプラン ～鹿沼公園・複合施設整備基本計画～(案)」に関する パブリックコメント手続の実施結果について

1 概要

次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりを進めるため、第1ステップとして淵野辺駅南口周辺の公共施設の集約・複合化による再整備及び鹿沼公園のリニューアルを行うとともに、第2ステップとして駅前自転車駐車場の再整備等を行うこととしております。

この度、鹿沼公園及び複合施設の整備に関する取組を中心に定める基本計画として、「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりプラン～鹿沼公園・複合施設整備基本計画～」を策定するに当たり、市民の皆様からのご意見を募集しました。

その結果、858人の方から973件のご意見をいただきましたので、ご意見の内容及びご意見に対する本市の考え方を次のとおり公表します。

2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 令和7年2月20日（木）～令和7年3月21日（金）
- ・ 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール
- ・ 周知方法 市ホームページ、広報さがみはら、窓口等への配架

※ 資料の配架場所

政策課、公園課、都市計画課、生涯学習課、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター（城山・橋本・中央6地区・大野南まちづくりセンターを除く）、各出張所、各公民館（沢井公民館を除く）、各図書館、公文書館、青少年学習センター、あさひ児童館、さがみはら国際交流ラウンジ、鹿沼公園管理事務所

3 結果

（1）意見の提出方法

意見数		858人（973件）
内 訳	直接持参	432人（446件）
	郵送	124人（142件）
	ファクス	12人（22件）
	電子メール	290人（363件）

（2）意見に対する本市の考え方の区分

ア：計画案等に意見を反映するもの

イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの

ウ：今後の参考とするもの

エ：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など）

(3) 件数と本市の考え方の区分

項 目		件数	市の考え方の区分			
			ア	イ	ウ	エ
①	第1章 これまでの経過とまちづくりプランの位置付けに関すること	2	0	0	2	0
②	第2章 公園整備計画に関すること	8 6 1	0	5 6	8 0 5	0
③	第3章 複合施設整備計画に関すること	7 3	0	4 5	2 8	0
④	第4章 鹿沼公園及び複合施設の管理・運営方針に関すること	2	0	2	0	0
⑤	第5章 事業スキームに関すること	1	0	1	0	0
⑥	第6章 今後整理・検討すべき事項等に関すること	2 9	0	1	2 8	0
⑦	その他	5	0	3	2	0
合 計		9 7 3	0	1 0 8	8 6 5	0

(4) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

※件数欄の数字は同じ意見がある場合の件数。空白の場合は1件。

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
① 第1章 これまでの経過とまちづくりプランの位置付けに関すること				
1	本計画の策定に関わった淵野辺駅周辺まちづくりを考える懇談会と有識者協議会の構成員及び両会の関係性と本計画の策定に至った経緯を明らかにしてください。 市職員は、自ら本計画の実行者として自らの責務と市の将来像を考え行動することが大切です。関係団体と協議会に任せることは、自己責任を放棄するものです。国の官僚の意識を学ぶ必要があるものと思います。		これまで地域住民及び地域団体の代表者で構成される大野北地区まちづくり会議や大野北地区まちづくりを考える懇談会の場で多くの意見をいただいたほか、次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会及び次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり有識者協議会において、様々な議論を積み重ね、令和5年3月に「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりビジョン～鹿沼公園・公共施設再整備に向けて～」を策定しました。 市民検討会は、公募の方6名をはじめ、大野北地区の自治会、商店会などの地域の方、図書館協議会委員、大野北公民館、さがみはら国際交流ラウンジ、あさひ児童館、青少年学習センターの運営団体の方、大学生などの30名で構成され、市民検討会には、有識者協議会委員として、公園、生物・植物、図書館、社会教育、建築、公民連携、まちづくりといった各分野の専門家も加わり、適宜講演や助言をいただきながら、一緒に検討を進めてきました。 今回策定するまちづくりプランは、まちづくりビジョンに基づき、第1ステップの取組を中心とした基本計画と位置付けています。	ウ
2	今からでも過去に費やした年月を考えると、改めて新計画を策定すべき。前提の地区公園からの位置付けの変更と現在の淵野辺駅の利用実態調査をし、駅南口の公共施設跡地の利用計画と本計画とを連携させて、計画を策定しなければ、淵野辺の魅力をして不十分なものとなるでしょう。危機感を持って対応されることを期待します。 川崎市においては、京急川崎駅に隣接した企業跡地にスポーツ公園を設けることを目的に事業を展開しています。淵野辺駅、鹿沼公園よりも土地利用の選択肢が多い川崎市の立地を考え、両市の計画を比較したとき、川崎市は広域的な利用を前提として整備することが伺えますが、淵野辺周辺のリニューアルは地域住民の声を優先し、当地の利点をこれまでにない駅近接の公園としての市民利用を無視して、行政としての責務と同地域の方向性を何ら発信をしない市と市民の損失を招く行為です。 こうしたことは、相模原駅北口の整備についても同様です。市民は同地に多目的スタジアムを設けホームタウンチームの隆盛を願っていますが、今だに何らの行動を示さずに来ましたが、川崎市のスポーツ公園構想に遅れをとりました。 小田急多摩線の延伸についても、何ら進捗していませんが、当然です。横浜市のモノレールや地下鉄整備により、沿線を都市開発し今日の市勢を築いてきました。この前例を考えずに上溝やその先への延伸を求めている声に応えることなく、相模原駅までのものとししました。この計画は横浜市の成功例に学ばず、市の負担だけを負うものです。速刻、本計画を撤回すべきと考えます。他の組織を設けるのは、行政に利するためにするものです。無責任は許されません。		令和5年3月に策定したまちづくりビジョンにおいて、老朽化した公共施設の集約・複合化による再整備や鹿沼公園のリニューアルを行うことにより、まちの魅力向上を図るとともに、民間活力やストック資産の有効活用(売却・貸付け等)などにより、改修・更新費用を確保しつつ、公共施設再編を契機とした次世代へ引き継ぐまちづくりを一体的かつ段階的に進めていくこととしています。	ウ
② 第2章 公園整備計画に関すること				
3	公園整備計画 ・「まち」の中で公園は「自然に触れられる場」として「自然」（草木・土・池等）を保持するべきと考える。 ・土のある場は今や貴重です。土の上を歩いたこともない子どもにも自然な感受性が育つでしょうか。 ・木はモノではなく生きものです。今ある木々を残すことを望みます。 ・落葉が土の上に積もり土へ還る環境を保持して下さい。菌糸が落葉を固定します。 ・次世代に引き継ぐ最たるものは、「地球」も「まち」も人間のためだけのものではないということです。動植物や昆虫、菌類、藻類、また土や水など環境と言われるもの、目に見えるもの見えないもの、様々なものと生き合っているのですから、人間の事しか考えないのは自己中心的です。木漏れ日やそよ風、水面のきらめき、土の柔らかさ、それらを心地よく感じる、心地良いように身体ができていくことは、それらとともに生き合っていることの実感と恩恵です。		リニューアルに当たっては、白鳥池や築山を存続するなど、懐かしさや思い出を感じられることで、シビックプライドを高められるような空間づくりを目指してまいります。 公園内の樹木については、整備から長期間が経過したことにより巨木化・老木化しています。引き続き安全に公園をご利用いただくとともに、樹木の持つ機能や役割を十分に発揮するため、樹木の状態に応じて伐採や植替え等を行ってまいります。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
4	鹿沼公園 白鳥池、池にいと嬉しうです。最近池が淋しうです。		高病原性鳥インフルエンザの拡大を受けて、平成24年2月に環境省が策定した飼養鳥に関する対策方針において、都市公園内における飼養衛生管理の基準が定められていますが、鹿沼公園の白鳥池は、当該基準を満たすことが困難であることから、白鳥の飼養は難しいものと認識しています。 白鳥池のリニューアルを予定していることから、いただいたご意見も参考にしながら、公園としての魅力向上を図ってまいります。	ウ
5	とにかく、花火ができる公園を作って欲しいです！みんなが個々で花火をすれば花火大会みたいで色んな人の色んな花火が見れてとても楽しいと思います！！ あと、自由にボール遊びができる公園も作って欲しいですm(_ _)m		鹿沼公園は花火禁止とさせていただいており、リニューアルに当たりましても、現在のルールを引き継ぐことを予定しています。 なお、市内の一部公園では手持ち花火のみ使用可能であり、花火が可能な公園は市ホームページに掲載しご案内しています。 また、ボール遊びにつきましても、相模原スポーツ・レクリエーションパークで自由にボール遊びができる広場を設置しています。	ウ
6	駐車場や駐輪場は公園よりでは、事故など少々危ない印象を持ちます。		駐車場ゾーンに隣接する公園正面口付近の見通しを良くするなど、公園利用者が安全に鹿沼公園へ行くことができるよう配慮してまいります。 また、利用者専用駐輪場は、公園の出入口付近など、効果的な場所に整備してまいります。	ウ
7	水生植物池に新たに設置を検討する事業 ヤオコーから公園の南入口まで行くのに、道路が危険すぎる。国道からめっちゃ車曲がってくるのに、家があったりして見通しが悪く、車来てるかも分かりづらい。ぜひ公園側に歩道を作ってほしい！！ (図⇒公園南西口の西側：危ないので歩道を公園側に作ってほしい 公園南西口と公園南東口の間：ここも歩道があったらうれしい)		鹿沼公園の外周部に、散歩、ジョギング等により公園内を一周することができるように園路等を整備してまいります。	イ
8	公園の管理維持費を最小限に抑えつつ、子供から老人まで、市民の皆が楽しみ、くつろげる公園に。 JR淵野辺駅や国道16号線に近いという立地を生かし、市民が集まり、楽しめる公園を。		現在の鹿沼公園には多世代が交流できるような広場空間が不足しているため、憩いやレクリエーション活動、交流、防災といった機能を兼ね備えた多目的広場を整備してまいります。 公園の維持管理に当たっては、民間活力を導入することで、より効率的・効果的なサービスの提供の実現を目指します。	イ
9	特定の人達やグループだけ（例えば、野球場、テニスコートなど）が使用する施設は不要。しかし、増加する高齢者に優しい、ゆったりくつろげる施設（背もたれ付き腰掛イスなど）は増やして欲しい。子供の遊び場も必須。		軟式野球場は公園に占める面積割合に対し利用のない日数が多くなっています。また、淵野辺公園や令和6年1月に新たに整備した相模原スポーツ・レクリエーションパークの野球場があることから、そちらのご利用を案内しています。 以上のことから、鹿沼公園の軟式野球場については、公園用地の更なる有効活用のために廃止することとしています。 テニスコートは利用率が高いことから、リニューアル後も設置することとしています。また、誰もが健康づくりを通じてふれあい、楽しみながら気軽に体を動かすことができる健康遊具などを設置してまいります。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
10	「池」を無くし、各種イベントの開催や災害時の避難広場等に変更する。		白鳥池は、鹿沼公園のイメージや雰囲気を構成する大きな要素であることから存続することとしています。 現在の軟式野球場付近に憩いやレクリエーション活動、交流、防災といった機能を兼ね備えた多目的広場を整備してまいります。	イ
11	犯罪防止のため、夜間の照明をもう少し増やして明るくする。		鹿沼公園全体のリニューアルを予定していることから、いただいたご意見も参考にするとともに、周囲にお住いの方への影響を考慮しながら、検討を行ってまいります。	イ
12	時計塔を設置。		鹿沼公園全体のリニューアルを予定していることから、いただいたご意見も参考にしながら、公園としての魅力向上を図ってまいります。	イ
13	公園内道路を舗装する。雨の日のぬかるみ、強風時の土埃の飛散を防ぐ。			イ
14	春夏秋冬を考慮した草花を多く。桜の木は残して欲しい。		桜の木など公園内の樹木については、整備から長期間が経過したことにより巨木化・老木化していることから、引き続き安全に公園をご利用いただくとともに、樹木の持つ機能や役割を十分に発揮するため、樹木の状態に応じて伐採や植替え等を行ってまいります。	イ
15	蓮池は不要。		水生植物池は廃止し、来園者が散策することができる開放的な樹林地を整備してまいります。	イ
16	3 F 複合施設の屋上は、いこいの庭園（植樹・花壇・ベンチ）希望		複合施設の屋上には、立体都市公園制度を活用し、公園機能（緑地、広場空間等）を配置することとしています。	イ
17	野球場跡は、土をなくして下さい（マンションベランダに黒土がとんでくる）		軟式野球場の廃止後は、芝生広場を整備いたします。 土の部分につきましては、今後の改修の検討にあたり、参考とさせていただきます。	イ
18	池を整備、白鳥がいる、カルガモがいる。コイとカメはいらない。		白鳥池のリニューアルを予定していることから、いただいたご意見も参考にしながら、公園としての魅力向上を図ってまいります。	イ
19	花々をもっと増やす。		ウェルカムガーデンの設置など、リニューアルの中で都市公園としての魅力向上を図ってまいります。	イ
20	リニューアルのコンセプト 白鳥池や築山、児童公園などが残るようで安心した。特に築山や白鳥池周辺は古い木も多いため、極力木に影響が出ないようにしてほしい。どこにでもあるような小ざれいな都市公園ではなく、今の鹿沼公園の自然や碑、土を極力そのまま残してほしい。間違っても、児童公園をゴムチップ舗装などにせず、土のままでお願いしたい。ゴムチップ舗装の公園は、多環芳香族炭化水素が原因で、がんのリスクが10倍高いという研究報告もある。		公園内の樹木については、整備から長期間が経過したことにより巨木化・老木化していることから、引き続き安全に公園をご利用いただくとともに、樹木の持つ機能や役割を十分に発揮するため、樹木の状態に応じて伐採や植替え等を行ってまいります。 児童交通公園の舗装につきましては、今後の改修の検討にあたり、参考とさせていただきます。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
21	リニューアルのコンセプト テニスコートをリニューアルするならば、ハードコートかクレーコートにしてほしい。人工芝コートはマイクロプラスチック飛散の視点からも、若いテニス選手育成の視点からも望ましくない。伊達公子さんも車椅子テニスの人たちも、人工芝コートを嫌っている。マイクロプラスチック発生源になることが明らかな人工芝コートを避けることで、市民の健康と未来を守ってほしい。		今後の改修の検討にあたり、参考とさせていただきます。	イ
22	概要版P 2 2-2 (1) 複合施設整備位置の絞り込み はじめに 「池北案」に落ち着いたことについては、住居環境の保持に関して危機感をもちました。今後のことは選定した「民間事業者の柔軟な発想」に委ねられそうですが、どうぞ、近隣住民の住環境をできるだけ破壊しない姿勢を持つ事業者を選定して下さい。		静かな空間から活動的な空間への変更など、空間構成の大きな変更は、周辺住民の生活に直接的に影響を与える場合もあることから、リニューアルに当たりましては、大きな変更を抑えるよう配慮してまいります。	イ
23	概要版P 4 (5) 駐車場ゾーン 「カフェ・売店等の便益施設」が設置されることは、ますます高齢化する近隣居住者にとって便利なことであるかも知れません。高齢者が利用することも視野に入れた設計をして下さい。		多くの公園利用者の利便性の向上やにぎわいの創出に資する公園施設として、カフェ、売店等の便益施設の設置を検討することとしています。	イ
24	池と緑のゾーン、憩いと交流のゾーン カラスへの対策のため、餌やり禁止などの表示やカラス駆除の対策が必要と考えます。 公園内の樹木に多くのカラスが住みついており、営巣の時期には下を通る人を攻撃することがあり巣の下が通行止めになることもあります。カラスを恐れてか、池に飛来して子育てしていた鴨もみかけなくなりました。特に池に白鳥がいなくなってからカラスが増えたように思います。鳩に餌やりをしている人、周辺住宅でのごみ管理の甘さなども原因かもしれません。		公園内では、他の利用者に迷惑をかける行為は禁止しており、看板の設置や注意喚起を行うなどの対策を行っていますが、公園のリニューアルに当たりましては、カラス等への対策につきましても配慮してまいります。	イ
25	外周部、出入り口 公園に来る人、周囲を通行する人のために、 ・外周を削って歩道を設置すること ・遠方からでも出入り口の存在がわかるような門柱等の設置 ・街灯の設置 が必要と考えます。 外周外側には歩道がなく、歩行者が右側通行しにくくなっています。特に公園南西口・南東口は車や自転車から見て、そこに出入口があることがわかりにくく、しかも公園と車道が直接接しています。車や自転車が徐行せず通行すれば、公園から出てきた人と接触する危険があります。特に夜間は周辺が非常に暗くなり、危険が大きいと感じます。		鹿沼公園の外周部に、散歩、ジョギング等により公園内を一周することができるように園路等を整備してまいります。 また、淵野辺駅方面から来る方を迎え、公園・複合施設へのスムーズな誘導を促すため、公園正面口につながる場所に「ウェルカムゲート」を整備することとしています。 街灯（公園の照明）につきましては、いただいたご意見も参考にするとともに、周囲にお住まいの方への影響を考慮しながら、検討を行ってまいります。	イ
26	2-3 整備イメージ (3) 多世代健康スポーツゾーン (ア) テニスコート 存続に異論はありませんが、野球場も少年野球など、若年層のスポーツ場所も確保・存続させてほしい。テニスコート減少、少年野球場専用サイズなど考えて頂きたい。若年層が増加させる目的も構想にあるのであれば、子供が楽しく育てる環境も願いたい。老年者が多いテニスコート縮小でも良いかと考えます。		軟式野球場は公園に占める面積割合に対し利用のない日数が多くなっています。また、淵野辺公園や令和6年1月に新たに整備した相模原スポーツ・レクリエーションパークの野球場があることから、そちらのご利用を案内しています。 以上のことから、鹿沼公園の軟式野球場については、公園用地の更なる有効活用のために廃止することとしています。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
27	本計画は、相模原唯一の、駅に近接し、中央図書館に隣接した公園であり、淵野辺駅周辺には、青学大をはじめとして5大学が利用駅とする地域です。 そうした地域の魅力と地勢力を活かさに作成された本計画は、全く評価できないものです。 第1点として、公園内にテニスコートを残すとのことですが、現在、過去のテニスブームは去っており、コートを使用している人は、周辺の人達・高齢者に限られます。テニスコートは、淵野辺公園、横山公園に大規模な施設があり、本公園に残す必要性はありません。 多目的広場についても考えます。こうした広場が麻溝公園や淵野辺公園に整備されています。 築山についても、そのまま活かすとのことですが、リニューアルするときには、新たな魅力を付加しなければなりません。 こうしたことから、公園としての機能は憩いの場、景観を愛でる場であって欲しいと思います。 このため、上記のところには、樹木を中心に白鳥の池の池泉式庭園としてリニューアルをし、その景観を活かした市民の駅近の憩いの場としてのテラスを設け、多目的広場は広く、環境を楽しむ静的な空間とすることが必要です。 交通公園と遊びの広場ですが、遊びの広場には、今日話題となっているヨーロッパ玩具のボネルンドの活動遊具にリニューアルすることにより、魅力と利用者は増加することでしょう。		地域住民の利用を想定した地区公園であることから、ゆとりのある空間を含んだりリニューアルとすることとしています。 鹿沼公園全体のリニューアルを予定していることから、いただいたご意見も参考にしながら、公園としての魅力向上を図ってまいります。	ウ
28	図書館敷地に駐車場とテラスを設けるとしていますが、最も低次元の計画案です。駅前の駐輪場が100%の利用率であれば、この再計画にあたり、本跡地が最も市民の要望に応えられる場所であり、これまでの倍以上の施設を設け、淵野辺公園、女子美大、北里大、麻溝公園利用者のためのレンタルサイクルセンターを設けるべきと考えます。		今後の改修の検討にあたり、参考とさせていただきます。	ウ
29	本公園は地域住民の利用を想定した地区公園としていますがこの出発点に明らかに過誤があります。先に記したように、本市の公園の中で駅に近接し、中央図書館を備え、5大学が利用する学生の街としてリニューアルをするコンセプトを基本としなければなりません。しかしながら、地区公園に縛られ、地域住民に配慮した計画であり、本市を俯瞰した視点のない0点の計画です。 本計画を推進することは、市民全般にとって大きな損失です。必要であれば、地区公園からの位置づけを変更し、他の市民が、そして学生が、スタートアップ企業人が、集まる空間として整備することが、淵野辺の活性化と市の魅力を発信することでしょう。		地域住民の利用を想定した地区公園であることから、ゆとりのある空間を含んだりリニューアルとすることとしています。 鹿沼公園全体のリニューアルを予定していることから、いただいたご意見も参考にしながら、公園としての魅力向上を図ってまいります。	ウ
30	課題整理と公園リニューアルの方策について 現在の本公園の施設、利用実態を鑑みたとき、施設の大部分を占めるのは野球場で、地区公園とは相いれないものです。テニスコートについても、50年代に先進的な本市のコートとして全天候コートとして整備され、多数の市民利用がありました。その他にも交通公園や白鳥池を中心とした憩いの場を設けて来たものであり、地区公園としての機能・施設整備がされているものです。 この歴史を顧みることなく、地区公園として地域のための公園を中心として、複合施設整備をするとは、常軌を逸したものです。淵野辺駅の利用実態調査をすることが前提であり、こうした責務を怠り、市の責務を放棄して他の組織に計画を策定するよう働きかけた行為は、将来に渡り禍根を残す最大の行政の失態です。			ウ
31	第2章 公園整備計画 2-3各ゾーンの考え方及び整備イメージ (7)その他 (イ)外周園路 淵野辺駅の近くには、駅から徒歩で行ける「市立博物館」と「宇宙科学研究所」があり、両施設には遠方からも電車で来訪する人たちが少なくありません。現在は「いて座通り」を通して両施設へ行くルートが案内されているようですが、駅南口前を直進して鹿沼公園まで行き、その突き当りを左折して公園の角をさらに右折して16号線（淵野辺交差点）へ出るルートで行っても駅から両施設への所要時間はほぼ同じです。 そこで提案ですが、公園の東側の端の土地を使って、公園の外側に幅の広いゆったりとした歩道をつくり（現在は段差のある歩道はない）、駅から「市立博物館」や「宇宙科学研究所」へ行く道の一つとして整備してはいかがでしょうか。		鹿沼公園の外周部に、散歩、ジョギング等により公園内を一周することができるように園路等を整備してまいります。	イ
32	第2章 公園整備計画 2-3各ゾーンの考え方及び整備イメージ (4)憩いと交流のゾーン 現在、鹿沼公園には飲食のできる店がありません。公園にコーヒESHOPや軽い食事のできる店があると、憩いの場や交流の場としてのニーズは高まるものと考えます。また、暑い夏季や寒い冬季のことを考えると、飲食のできる店は空調されている施設の中にあるのが望ましく、新施設を建築する際には飲食のできる店の設置（できれば眼下に池を見下ろせる上階）も検討されてはいかがでしょうか。		公園利用者の利便性の向上やにぎわいの創出に資する公園施設として、カフェ、売店等の便益施設の設置を検討することとしています。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
33	・駐車場の有料化について 図書館だけでなく公民館機能、青少年センター機能などを含む複合施設の場合、半日もしくは長時間の利用も考えられます。 利用者への割引や、近隣有料駐車場を増やすなどしていただきたいです。		駐車場の適正利用の推進を図るため、駐車場の有料化に向けた検討を進めることとしており、その検討の中で整理してまいります。	イ
34	小さい子供から目を離さずに犬の散歩も一緒に出来る空間があると大変助かります。子供の遊具もあり、犬の散歩もできたらどっちのコミュニティも広がります。小さくても良いのでドッグランがあったら。今は犬のいるご家庭、とても多いのでご検討下さい。		鹿沼公園のリニューアルに当たりましては、原則として、ゾーニングに沿った整備を行います。今後、民間事業者からの提案を求める中で、その提案内容が各ゾーン又は公園全体の機能向上や魅力向上に資する場合には、各公園施設の規模や形状の変更、新たな公園施設の設置も可能としていることから、これらの視点に基づき判断してまいります。	イ
35	鹿沼公園の桜は、数十年間、毎年、美しく、奇麗に咲いており、市民の憩いの場所です。今回の計画では、桜の木の伐採が避けられない可能性があることはとても残念なことです。		公園内の樹木については、整備から長期間が経過したことにより巨木化・老木化していることから、引き続き安全に公園をご利用いただくとともに、樹木の持つ機能や役割を十分に発揮するため、樹木の状態に応じて伐採や植替え等を行ってまいります。	イ
36	施設利用者、市民が憩うための「憩いと交流のゾーン」、「池と緑のゾーン」は必要と思いますが、「遊びのゾーン」の交通遊園や遊具公園は駅に近いこのエリアに設置する必要はないと思います。 この部分に広い面積を割いても、利用者層、利用人数は限られ、近隣地域の活性化はつながらないと思います。 また、駅から近い場所に立地することを考慮すると、この公園内にテニスコートを残す必要があるかどうか疑問です。 利用者は限られたテニス愛好者のリピート利用であり、利用人数は限られていると感じます。 これまで有ったからという理由だけで、テニス愛好家だけを優遇する必要があるのでしょうか。		複合施設の整備に当たっては、公園や周辺の住環境に配慮した施設としてまいります。 また、鹿沼公園は地域住民の利用を想定した地区公園であることから、ゆとりのある空間を含んだリニューアルを実施することとしており、「遊びのゾーン」に含まれる児童交通公園や遊具広場は多くの子どもたちに利用されていることや、「多世代健康スポーツゾーン」内のテニスコートは利用率が高いことから、今後も多くの方が楽しんで利用できるようにしてまいります。	ウ
37	「声」の大きい人、「声」を集めることに長けた人々が、いわゆる「公園部分」を減らすことを「悪」として反対する声をあげられているかと思いますが、何十年に一度の再開発の機会を成功させるためには、あっちの意見も、こっちの意見も取り上げて両案の折衷案で事業を行うのではなく、ある種の割り切りが必要だと思います。 「交通遊園」や「テニスコート」を利用する限られた人々のためではなく、不特定多数の、幅広い年齢の市民が魅力を感じ「行ってみたい」と思える施設にすべきと考えます。 以上のような「総合複合施設」と駐車場ビルの建設が予算規模として不可能ということであれば、大手不動産デベロッパーと協業とし、「総合複合施設」に必要な階数より上の上層階をマンションとして開発してはどうでしょうか。詳細は承知しませんが、Bono相模大野などが実例かと思いますが。			ウ
38	鹿沼公園南西口の水生植物池近くの道路際に住んでいます。道路と敷地内の落葉拾いが年間通じて大変でございます。春から冬にかけ約10か月以上、特に桜の時期の桜の葉、花びら、花卉、秋の落葉等が道路や敷地、ベランダに数多く降り注ぎ、数年前までは公園の職員が週に1、2回は道路の掃除等まめにやっていましたが、今では月に一度程度と職員の数も減少して期待できません。 そこで、公園リニューアル工事で現状の樹木を伐採又は新規に樹木を植えるのであれば、道路際から3メートルから5メートル公園内に移して樹木を植えていただきたいと思っています。できる限り樹木は道路際から公園内側への移動をお願いします。		公園内の樹木については、整備から長期間が経過したことにより巨木化・老木化していることから、引き続き安全に公園をご利用いただくとともに、樹木の持つ機能や役割を十分に発揮するため、樹木の状態に応じて伐採や植替え等を行ってまいります。 また、鹿沼公園の外周部に、散歩、ジョギング等により公園内を一周することができるよう園路等を整備してまいります。	イ
39	公園のリニューアル事業について 屋外音楽堂⇒イベントのステージや各施設団体が発表等ができる ※若者達が参加やいつでも見ることができる施設		新たに整備する多目的広場は、日常的ににぎわいを創出するオープンスペースとして、多くの公園利用者を受け入れ、滞留空間としての価値も得られる広場を目指してまいります。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
40	防災公園について⇒防災の拠点として公園と複合施設の整備が必要である。 ・太陽光パネル等により電源の確保 ・井戸による水源の確保 ・活水の浄化による下水の確保		リニューアルに当たっては、多目的広場を新たに設置するなど、「相模原市地域防災計画」との整合を図りながら、災害発生時の活用を見据えた整備を行ってまいります。具体的な防災機能の提案につきましては、今後の改修の検討にあたり、参考とさせていただきます。	イ
41	駐車場、駐輪場の設置について 公園、複合施設の相乗効果の増大による利便施設として、駐車場、駐輪場は、イベントや周辺施設等を配慮して利用区分や料金等の設定をして欲しい。		駐車場の適正利用の推進を図るため、駐車場の有料化に向けた検討を進めることとしており、その検討の中で整理してまいります。	イ
42	駐輪・駐車場の件 駐車場は、公園南東口・南西口にもあるとよい。防災の面でも駐車場の確保は必要と思う。		駐車スペースにつきましては、鹿沼公園及び複合施設利用者の駐車場を設置し、駐車台数は、利用者の増加を勘案し、140台程度を下限とし、民間事業者の提案を募ることとしています。 また、利用者専用駐輪場は、公園の出入口付近など、効果的な場所に整備することとしています。	イ
43	ゾーニングの整理の件 なるべく長いジョギング外周コースがあると、ジョギング、ウォーキングする人達が集うので、運動の習慣化、公園のリピートにつながると思う。平塚総合運動公園は、多くの人が外周コースを利用している。		公園の魅力や機能の向上を図るため、鹿沼公園の外周部に、散歩、ジョギング等により公園内を一周することができるよう園路等を整備してまいります。	イ
44	飲食店について にぎわいの創出に資する公園施設の実現のために、カフェ等の飲食店や売店設置も必要と考える。		公園利用者の利便性の向上やにぎわいの創出に資する公園施設として、カフェ、売店等の便益施設の設置を検討することとしています。	イ
45	ゴミ箱について ゴミの落ちていないきれいな環境の実現のために、きちんと分別ができるゴミ箱の設置が必要と考える。		公園内のごみ箱については、不特定多数の方が利用することによる衛生上の課題や、放火などの防犯上の課題、ゴミの回収等の管理上の課題などがあることから、公園利用者の皆様に、ゴミの持ち帰りをお願いしています。	ウ
46	駐輪場の件 現状、駅、鹿沼公園、図書館、公民館、まちづくりセンター、青少年学習センター、児童館、国際交流ラウンジにそれぞれの駐輪場があるが、建物の複合化によりスペースを1ヶ所にまとめようとしているのだろうが、滞在時間も用途によって違ってくると思われる。		利用者専用駐輪場は、公園の出入口付近など、効果的な場所に整備してまいります。	イ
47	2-1 公園リニューアルのコンセプト 「公園内の樹木については～見通しの悪化などの課題が生じている～」と書かれていますが、全く同感です。見通しの改善については、外周道路の交通の安全面に配慮いただけると助かります。 具体的には、公園の角（北東と南東部の角）は、車両や自転車、歩行者の交通のための視界を確保するため、外周の植栽の高さや間隔に配慮ください。		公園の魅力や機能の向上を図るため、鹿沼公園の外周部に、散歩、ジョギング等により公園内を一周することができるよう園路等を整備してまいります。 いただきました安全対策につきましても、今後の改修の検討にあたり、参考とさせていただきます。	イ
48	2-3 各ゾーンの考え方及び整備イメージ (6)イ(イ) 障害者等の利用に配慮した駐車場 「障害者」への配慮については、駐車場にも配慮を要す箇所があるかと存じます。計画後半に、整備に伴う公園の運用想定は 15年 かと認識しています。その頃には高齢者の数も増えているのではないのでしょうか。 公園整備において、障害者を想定した動線も考えて、一部のバリアフリー化（車椅子でも通しやすい公園ないの道の整備）も検討してはいかがでしょうか。		鹿沼公園のリニューアルに当たりましては、誰もが安心してご利用いただけるよう、いただいたご意見も参考にしながら、公園としての魅力向上を図ってまいります。	イ
49	2-3 各ゾーンの考え方及び整備イメージ (7)イ 外周道路 鹿沼公園の周囲道路の歩道は駅への往来の人達が利用します。ただ、十分なスペースが確保されておらず、多くのケースで車道にはみ出して利用され、安全上の懸念を感じます。今回の整備で、外周道路では歩行者だけでなく、自転車の通行にも配慮してはいかがでしょうか。（例えば、淵野辺公園の外周道路のように）		公園の魅力や機能の向上を図るため、鹿沼公園の外周部に、散歩、ジョギング等により公園内を一周することができるよう園路等を整備してまいります。 いただきました安全対策につきましても、今後の改修の検討にあたり、参考とさせていただきます。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
50	(全体として)整備計画での、市民の安全への寄与の最大化、フェーズフリーの考え方の導入プラン全体として、「安全(特に交通安全、大規模災害)への備え」としての視点がオマケ扱いになっているように思えます。いろいろ検討会や民間事業者との協議等が催された際に、防災や安全面の専門家はどの程度関与され、どのような提言がされたのでしょうか。個人的に気になったのは以下のような点です。 (1) 移転予定の諸施設は、現状なら各敷地内に駐車場があり利用者が道路を横断する必要が全くありません。しかし案では移転後に公園側と駐車場とが一般道路で分離される為、幼児・子供から大人まで多くの利用者が(健常者だけでなく、また場合により荷物をもって)、車の往来が大幅に増加するであろう車道を無信号の横断歩道で渡るような、また多くの車も狭い道と車の出入りで渋滞を起こすような事態が予想されます。 ● 上記の安全面への対策案1:今の案のように公園側と駐車場を車道を挟んで分離するしかないのなら、駐車場内と歩道から直接公園内に入り出できるようにデッキやブリッジを設ける(安全第一には、このデッキをメインの入口とする)。あるいは、一番効果的で安全と思われるのは、今の公園と図書館の間の車道を閉鎖して公園内に取り込んでしまい、車道は公園と駐車場をぐるっと回るように、今ある道路を拡幅整備する。 ● 上記の安全面への対策案2:体の不自由な人や高齢者、子供連れ、楽器や荷物を運搬する利用者の安全と利便性を考えると、公園外のメイン駐車場に加えて、公園内の複合施設わきに十分な車寄せスペースとサブの駐車場を用意する。 ● 上記の安全面への対策案3:現状の公園を取り囲む道路は歩道も十分に整備されていない狭い道で、現在でも公園の駐車場や図書館の駐車場が満車になり、入場待ちの車が列をなす事も少なくない。公民館の駐車場の満車も発生している。より多くの施設が公園内に移転する事で、この交通事情がさらに悪化する事は容易に予想されるので、そうなる前に、道路の拡幅や一部の一方通行化等の根本対策が必要。 (2) 大規模災害(現に一番懸念されるのは震災)発災時に、整備後の各施設と公園そのものが最大限に市民の安全確保に役立つような検討結果と考慮を基本案で明示すべきではないでしょうか。大きな資金を投入する計画なので、フェーズフリーの考えをベースに、やれる対策は最大限にいれるべきだと思います。広場の一部に「災害時にも活用できる」屋根を設けるのも、無いより良いとは思いますが。 ● 上記の対策案:敷地のゾーン案と各施設の性能案等に発災時の対応を考慮した項目を明記する。例えば(1)芝生広場への炊事場、マンホールトイレ、給水場、災害用井戸などの設置、ヘリポート対応、緊急車両進入経路、備蓄倉庫(2)各施設の緊急時を考慮したレイアウトとスペース確保、図書館地下書庫スペース一部を備蓄倉庫化 (3) 現在の公園は日中は憩いの場所になっている反面、中央部より16号側の一部は、明かりも乏しく日が落ちた後は一人歩きを躊躇する人もいそうです。駅前の公園としては過度は植樹は抑えて(明るい雑木林程度を目標に)、かつテニスコートを道路沿いでなく中央部付近に設ければ、その夜間照明とプレイヤーによる人流が期待でき、この上ない防犯対策になると思います。「ちかん注意」の看板が不要になる安全な公園に!		駐車場ゾーンに隣接する公園正面口付近の見通しを良くするなど、公園利用者が安全に鹿沼公園へ行くことができるよう配慮するほか、複合施設に近接した場所に、障害者等の利用に配慮した駐車場を設置することとしています。 また、公園の魅力や機能の向上を図るため、鹿沼公園の外周部に、散歩、ジョギング等により公園内を一周することができるよう園路等を整備することとしています。 具体的な防災機能の提案につきましては、今後の改修の検討にあたり、参考とさせていただきます。 防犯対策につきましては、樹木の状態に応じた伐採や植替え等を行うとともに、周囲にお住いの方への影響を考慮しながら、検討を行ってまいります。	イ
51	P.14 (3) 多世代健康スポーツゾーン イ 具体的にはテニスコートだけですが、健康遊具等とは何のことかイメージがわかりませんでした(「遊具」とあるので、ジムの機械とは別のものと思いますが)。 ここは単純にテニスコートの事を言っていて、地図に広場や園路と並んで書いてある「多世代向け健康スポーツ施設」の事を「健康遊具」としているのでしょうか。		多世代健康スポーツゾーンには、多世代向け健康スポーツ施設として、ストレッチや軽い運動などができる、背伸ばしベンチなどの健康遊具を設置することとしています。	イ
52	P.47 6-1 (2) 利用者駐車場の適正利用(有料化の検討) 必要であれば、市役所等の有料化された駐車場のよう、一定の有料化も仕方ないかと思いますが、この基本計画の文面では情報が足りません。 素朴な疑問ですが、まず現状の鹿沼公園駐車場、大野北公民館駐車場、まちづくり公社駐車場、青少年学習センター駐車場の利用者の駐車可能台数の総計と、計画で予定する駐車場の駐車可能台数の数字(概数でも)を開示して、どれだけ足りないか明確にさせていただきたいです。それとも台数は増えるのでしょうか。 そのうえで、現状はどのように「適正利用」がされていないのか、説明していただきたいです。そうでないと、適正利用の問題ではなくて駐車台数が足りないのを減らしたいから、あるいは単に収支面から有料化したいのが趣旨なのかと考えもするのですが。		駐車場の整備台数につきましては、施設利用者へのアンケート等を参考に滞在時間や自動車来場率を算出するなど一定の基準に則って算出しています。 また、整備台数の設定に当たりましては、施設利用者以外の駐車が駐車場混雑の一因となっていることから、有料化による適正利用や利用者の増加を勘案した駐車場の規模としています。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
53	P.5 まちづくりビジョン、鹿沼公園・図書館敷地再整備の考え方 今回の再整備で公園に求めるものとしてかなり多かったのが「カフェ等の飲食施設」だったと思います。どこに配置するかはこれからかと思いますが、P. 5のどこにも「カフェ等」の記載がないので、左下「新設」に「カフェ等の飲食施設（複合施設内を含む）」等の記載があると安心できますのでご検討ください。		まちづくりプラン（案）の「第2章 公園整備計画」（P.9）において、「公園利用者の利便性の向上やにぎわいの創出に資する公園施設として、カフェ、売店等の便益施設の設置を検討すること」と記載しています。	イ
54	P.12 （2）遊びのゾーン 遊びのゾーンの東側は朝の自転車ラッシュによる事故の懸念が以前より指摘されております。公園の面積が減るのは本望ではないですが、歩行者用歩道を整備いただく等、検討をお願いしたいです。		公園の魅力や機能の向上を図るため、鹿沼公園の外周部に、散歩、ジョギング等により公園内を一周することができるように園路等を整備してまいります。	イ
55	P.12 （2）遊びのゾーン、もしくはP.14（4）芝生広場や多目的広場等のゾーン 現在は幼児～小学生向けの遊具がほとんどですが、バスケットゴール等の中高校生向けの施設もご検討いただきたいです（中高生の居場所がかなり少ないので）		原則として、ゾーニングに沿った整備を行います。今後、民間事業者からの提案を求める中で、各ゾーン又は公園全体の機能向上や魅力向上に資する場合には、各公園施設の規模や形状の変更、新たな公園施設の設置も可能としていることから、これらの視点に基づき判断をしてまいります。	イ
56	P.13（ウ）保存機関車 P.16 ア 公園管理事務所 現在保存機関車整備用の倉庫がなく、機関車の運転席や炭水車（後ろの車両）、煙室（先頭の円形扉部分）に何とか収納し、公開日のたびに出し入れしている状況です。整備器具が雨にさらされ故障の原因にもなっており、ぜひ保存機関車整備用の倉庫を併設いただければと思います。			イ
57	P.15 （5）駐車場ゾーン カフェ、売店等の便益施設やウェルカムガーデンの設置もご検討いただいているとの事、素晴らしいと思います。また、下限140台との事ですが、施設が複合化されることを考えると140台で足りるのか不安です。慢性的に周辺に待ち渋滞ができると困るので、台数増加や駐車場立体化を含め、ご検討いただきたいです。		駐車場の整備台数につきましては、施設利用者へのアンケート等を参考に滞在時間や自動車来場率を算出するなど一定の基準に則って算出しています。	イ
58	P.16 イ 外周園路 遊びのゾーンの東側は朝の自転車ラッシュによる事故の懸念が以前より指摘されており、もし公園外側に歩行者用歩道を整備いただくと公園面積がどんどん減ってしまうので、無理に外周歩道を整備しなくても、公園内で安心してランニングが出来るような歩道の整備もありかなと思いました（園内動線を検討いただければと存じます）。		公園の魅力や機能の向上を図るため、鹿沼公園の外周部に、散歩、ジョギング等により公園内を一周することができるように園路等を整備してまいります。	イ
59	2-3(2)遊びのゾーン ・遊具広場のインクルーシブ遊具の導入はとてもよいと思います。 以前、関西地方の駅前の広場にも説明看板付きで設けてあるのを見て、意識づけにもなると感じました。 ・気になるのは、その地面の素材です。相模原駅そばの広場でも導入している柔らかなマイクロプラスチック素材のものは今、世界的にも環境問題として課題になっています。先日、ある公民館でのマイプラを考える講座に参加して、より一層問題意識を持ちました。人体に影響がある報告もあり、より幼い子どもへの影響を危惧します。 ・幅広い見地での素材の検討をお願いしたいと思います。		今後の改修の検討にあたり、参考とさせていただきます。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
60	当該施設を利用してより効果的な「体験型」交通安全教室を発展させるための体制と運営を検討・実現されたい（主に園児・小学生対象） 現状） (a) 小学3年生を対象に自転車の交通安全教室が実施されている（市主催）。 (b) 通常は、自転車やカートの貸し出しがあり、借り受けた子どもたちは公園内の道路などを自由に／楽しく乗り回している 課題） (a) 当該公園は、他に見られないほど充実していて「体験型」学習に相応しく、交通事故防止に役立てたい施設である。しかし、交通安全教室は、実際に近い場面体験などを盛り込むなど、設備を一層活用できる余地がありそうです。 (b) 通常の乗り物貸し出しでは、自由に乗り回しているので、交通ルール・マナーの学習に繋がっておらず、折角の施設が活用しきれいていないと思います。 要望） (a) 交通安全教室をより効果的に運用するため、昨今の交通事情・受講する子どもの特性・保護者等からの要望・などを考慮した指導プログラムを検討する関係者組織があればよいと考えます。関係者としては、公園課、交通・地域安全課、教育委員会（学務課や学校教育課）、PTA連絡協議会、警察署、交通安全協会があるでしょう。 (b) 緩い安全指導（左側通行、自転車の停止操作、程度）と危険行為の防止指導を行う指導員を配置したらよいと思います。		児童交通公園については、今後も多くの子どもたちが楽しんで利用できるよう、道路部分に自転車専用通行帯を設置するなど、自らの身体と道具を用いて遊びながら学ぶ施設としてリニューアルすることとしています。 リニューアル後は、交通ルールを学ぶ場としての機能を十分に発揮できるよう、いただいたご意見も参考にしながら、効果的な事業の展開に努めてまいります。	イ
61	当該施設をより多くの教育関係団体が利用しやすくするためのアクセスを検討・整備されたい 現状） 当該施設を団体利用する教育関係団体（保育園・幼稚園・小学校）は徒歩で来られる範囲内にあり、途上安全確保しやすい人数とルートがある場合に限られているように見受けられます。 課題） 市内の多くの教育関係団体が当該施設にアクセスできず、「体験型」交通安全教室等に利用できる機会を失っています。そして、多くの子どもが、折角のよりよい交通安全指導を受けられていません。 要望） バス2台分ぐらいが乗降できるスペースを検討されたい（一時横付けでも、折り返しでも、業務兼用でも、可能な範囲で）。			イ
62	野球場の広場をもっと広く、防災に役立つ事に。 ・テニスコートを無くしマンション側にコンクリート壁5m位い ・イベントに使うようコンクリートの広場 ・テニスの壁打ち（ソフト）、バトミントン ・近くの保育園の集まる場所に ・駅下でのマルシェに集まる、小さな子供や先生が行ける		新たに整備する多目的広場については、災害時に様々な役割を持つことが考えられることから、相模原市地域防災計画との整合を図りながら、災害発生時の活用を見据えた整備を行うこととしています。 鹿沼公園全体のリニューアルを予定していることから、いただいたご意見も参考にしながら、公園としての魅力向上を図ってまいります。	イ
63	鹿沼公園は昔の鹿沼に復元すべきです。 鹿沼は私が小学生の時に埋めたてられました。もう60年程経ちます。私は中央小学校に通ってました。当時、中央小学校の指導で鹿沼に行ってはいけなかったことになっていました。 私は教師の教えるを忠実に守ってました。しかし、同級生の中には鹿沼に行って、楽しんでた者もいました。鹿沼が埋めたてたことを知り、父と鹿沼に行った日のことはよく覚えています。すばらしい水辺で、多くの人が釣りをしていました。私達も釣りをしました。水鳥も浮かび、水生植物も生い茂っていました。 教師の指導もあって、結局、1回しか行きませんでした。鹿沼が埋めたてられたことによる私の喪失感は大いものでした。地表水がない相模原台地に、あれだけ広大な水辺があったのは奇跡だと思います。当時のことから埋め立てにおける環境調査などは行っていないと思います。どれだけの動植物が失われたか、心が痛みます。現在の公園は市が管理しているので、市が埋めたてたのでしょうか？生態系を復元したすばらしい水辺をとり戻したいです。おそらく、このような発想をする人間はいないと思います。SDGsとか潤水都市とかは掛声だけでしょうか？ 少くとも現在の白鳥池は、もっと自然に改変し、水生植物池と一体化した水辺環境にすべきです。 今の池は「池があります」だけのように見えます。昔の生態系を取り戻した自然の池にすべきです。あわせて、築山も雑木林に戻すべきと考えます。潜在植生まで戻すか議論がありますが、雑木林でよいと思います。		リニューアルに当たっては、時代や社会情勢の変化に対応するだけでなく、白鳥池や築山を存続するなど、懐かしさや思い出を感じられることで、シビックプライドを高められるような空間づくりを目指してまいります。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
64	・多目的広場について 一部屋根付き、とても良いと思います。子どもたちが雨の日ものびのび遊べる場になると良いなと思います。		現在の鹿沼公園に不足している休憩できるスペースや、多世代が交流できる広場空間として、ピクニックなどの個人利用や地域のイベントなど、多機能な用途での活用ができる多目的広場を整備してまいります。	イ
65	・公園にカフェを設置することについて カフェとなると、お金を払わないといられないスペースになってしまいます。その分を無料でくつろげるスペースに回してほしいです。			イ
66	・駐車場の有料化について 施設利用者以外の利用を有料にすることについては賛成ですが、施設利用者は完全に無料にしてほしいです。また台数も、複合化する施設の合計に等しいくらい確保してほしいです。ただでさえ足りないときは足りないのです。		駐車場の適正利用の推進を図るため、駐車場の有料化に向けた検討を進めることとしており、その検討の中で整理してまいります。	ウ
67	○駐車場ゾーンについて 上記色々なスポーツ他で公園を利用するにあたり、道具など運搬のため車で来園は不可欠ですので、十分な駐車場の確保・立体駐車場の設置をお願いします。		駐車場の整備台数につきましては、施設利用者へのアンケート等を参考に滞在時間や自動車来場率を算出するなど一定の基準に則って算出しています。	イ
68	2-3 各ゾーンの考え方及び整備イメージ>(3)多世代健康スポーツゾーン> イ.施設等の整備イメージ (ア)テニスコート なぜ既存のスポーツ施設としてテニスコートだけ残すのか。計画書には「幅広い世代が楽しめるスポーツであり、テニスコートの利用率が非常に高い・・・」とあるが、現実には、ほぼ固定された元気な中高年が、自転車・バイク・車で来て専有的に利用しているのを利用率が高いと評価しているのは如何なものか。		鹿沼公園は、地域住民の利用を想定した地区公園であることから、ゆとりのある空間を含んだりリニューアルするため、専用利用の運動施設は、利用率の高いテニスコートのみを設置することとしております。	ウ
69	テニスコートの人工芝にマイクロプラスチックになるような素材は使わないでください。		今後の改修の検討にあたり、参考とさせていただきます。	イ
70	相模原市内の公園はコンクリートを使用しすぎたり、木を伐採しすぎたり、自然が次々と減らされています。出来るだけ、ヨーロッパやカナダなどを見習って、ありのままの自然の姿を残してください。 管理は、市民に募集をし、市民レベルで管理が出来るような仕組みを作ってください。 環境保全や予算の削減だけでなく、市民主役の町づくりや地域のコミュニティの再生と繋がると考えます。 東京都や日野市、上野原市などは、自治体が市民に対して森林や自然保全ボランティア講座などを開いて、育成をしています。そこから、地域のコミュニティが再生、活性しはじめている事例が増えてます。		公園内の樹木については、整備から長期間が経過したことにより巨木化・老木化していることから、引き続き安全に公園をご利用いただくとともに、樹木の持つ機能や役割を十分に発揮するため、樹木の状態に応じて伐採や植替え等を行ってまいります。 リニューアル後の管理・運営に当たりましては、鹿沼公園及び複合施設のにぎわいや交流の創出のため、市民が運営に関わることができる仕組みを検討することとしています。	イ
71	公園入り口全てに駐輪場整備希望。有料にするならば3時間無料にすべき。駐輪場が無いと今のように公園内道に止めて邪魔と感じています。 複合施設の駐輪場についての記述が見当たらない。駐輪場は現公民館、図書館にはあるので設置は必要と感じる。有料駐輪場ならば3時間無料設定にしてほしい。		利用者専用駐輪場は、公園の出入口付近など、効果的な場所に整備します。 利用者用の駐輪場につきましては、現在は無料としており、リニューアル後も引き継ぐこととしています。	イ
72	駐車場の有料化しないでほしい。利用者は無料であるべき。		駐車場の適正利用の推進を図るため、駐車場の有料化に向けた検討を進めることとしており、その検討の中で整理してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
73	○憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月に閉鎖になり、市として市有地に民設民営で整備するよう進んでいます。 そのアイススケート場代替施設としてこのゾーンにお願いします。 理由 銀河アリーナアイススケート場は、平成3年に設立されこれまで多くの皆様に利用され近年では、老若男女年間13万人が利用しています。駅近なのでより多くの皆様が利用できます。災害発生時の避難施設となります。リニア新幹線の開通により全国規模の大会もできます。近隣に騒音のご迷惑は、かけません。	599	鹿沼公園のリニューアルに当たりましては、原則として、ゾーニングに沿った整備を行います。今後、民間事業者からの提案を求める中で、その提案内容が各ゾーン又は公園全体の機能向上や魅力向上に資する場合には、各公園施設の規模や形状の変更、新たな公園施設の設置も可能としています。 民間アイススケート場の設置・運営については、必要な敷地が確保できる場所の条件整理や民間事業者へのヒアリングなど、実現可能性についての調査を令和6年度に実施したことから、これに基づき市の対応方針を検討してまいります。	ウ
74	○憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖となることから、このアイススケート場代替施設をこのゾーンに設置することをお願いします。 アイスホッケー、ショートトラック、カーリング、フィギアなどの競技スポーツからレジャーとしての滑走まで、ジュニアからシニアまで幅広い年代層に多く利用されている現施設の代替を交通利便性の高いこの地に設置することは、スポーツを通じた文化の多様性と市民生活の豊かさの実現に繋がると考えます。	112		ウ
75	●憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月に閉鎖になり、市として市有地に民設民営で整備するよう進んでいます。そのアイススケート場代替施設としてこのゾーンにお願いします。 理由) 銀河アリーナアイススケート場は、平成3年に設立されこれまで多くの皆様に利用され近年では、老若男女年間13万人が利用しています。駅が近くなることにより、より多くの人が利用できます。また、リニア新幹線の開通により全国規模の大会もできます。本市に根付いたアイススケート文化を継承してほしい。	3		ウ
76	○憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アイスアリーナが閉鎖になると聞きました。アイススケート場の代替施設をこのゾーンに設定をお願いします。 (理由) 銀河アイスアリーナは長らく近隣の方々に利用され、今後も継続して地域に愛される活動がなされるのと同時に、リニア新幹線の開通により一層の利用者も見込まれると考えます。 通年リンクとして継続設定をお願いします。	4		ウ
77	●憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月に閉鎖になり、市として市有地に民設民営で整備するよう進んでいます。そのアイススケート場代替施設としてこのゾーンにお願いします。駐車場の数も足りなくなりそうなので、駐車場の増設もお願いいたします。 理由) 銀河アリーナアイススケート場は、平成3年に設立されこれまで多くの皆様に利用され近年では、老若男女年間13万人が利用しています。駅近なのでより多くの皆様が利用できます。災害発生時の避難施設となります。リニア新幹線の開通により全国規模の大会もできます。近隣に騒音のご迷惑は、かけません。	6		ウ
78	銀河アリーナスケート場代替施設として新たなアイススケート場が必要と考える。	3		ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
79	公園整備事業 ●憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が惜しまれつつ令和9年3月に閉鎖してしまいます。スケートは老若男女問わず楽しめる生涯スポーツ。メンバーを集めることも不要で一人でも楽しめますし、親子やカップルおともだち等グループでも楽しめる貴重なスポーツです。銀河アリーナより駅から近くなるのでより通いやすくなるので淵野辺南口周辺に人を呼び込めると思います。ぜひスケートリンク場の建設をお願いいたします！！	4		ウ
80	スケートリンク 長男が今年アイスホッケーを始めました。銀河アリーナ、ひいては相模原市さんのおかげです。ただ、非常に貴重なスポーツだとも理解しました。ぜひアイスホッケーのできるスケートリンクを作ってください。	3		ウ
81	憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月に閉鎖になり、市として市有地に民設民営で整備するよう進んでいます。そのアイススケート場代替施設としてこのゾーンにお願いします。 理由 高齢者の健康管理や交流の場所として 銀河アリーナアイススケート場は、平成3年に設立されこれまで多くの皆様に利用され近年では、老若男女年間13万人が利用しています。駅近なのでより多くの皆様が利用できます。災害発生時の避難施設となります。リニア新幹線の開通により全国規模の大会もできます。近隣に騒音のご迷惑は、かけません。	2		ウ
82	淵野辺駅南口町づくりプランに関して。 公園整備事業ですが、鹿沼公園内にぜひともアイスアリーナを設置していただきたいです。 銀河アリーナはR9年3月で閉鎖の予定ときき、アイススポーツが大好きな、自分たち、家族もがっかりしています。現在、高1の息子は中学生まで銀河のアイスホッケーチームで活動しておりました。 神奈川県内では横浜しか常設リンクがなく、相模原で常設できればアイススポーツはもっと発展すると思いますし、相模原の知名度も上がると思います。 何より、アイススポーツする子どもたちの居場所ができます。 プロのアイスショウやアジアリーグの試合なども出来るでしょう。 多くの人々に相模原の魅力を知ってもらえます。 市の所有地に民営民設でアイスアリーナの設置計画があると聞いています。 鹿沼公園の中にアリーナができれば、駅から近いし、より多くのお客さんが利用でき、災害時にも役立つと思います。 市の補助金は必要と思いますが、我々は市税を払っています。これらにも使われれば本望です。			ウ
83	公園整備事業 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が閉鎖になると伺いました。 私は川崎市に住んでいますが、日曜日の早朝のスケート教室は大盛況で、このような事業を継続している相模原市は素晴らしいと感じておりました。 駅前の再開発地にぜひこのようなスケートリンクを設けていただけますようお願いいたします。			ウ
84	●憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月に閉鎖になるそうで、アイススケート場代替施設としてこのゾーンに建設を希望します。 理由： 希望地は駅近であり、またリニア開通により多くの利用客が見込めます。またアクセスが良くなるため大会を開催しやすいと思います。 銀河アリーナアイススケート場は古くから多くの方々に利用されていると聞いています。閉鎖に伴い利用してきた方々の新たな利用場所として希望したいです。			ウ
85	淵野辺公園内の銀河アリーナスケート場が令和9年3月に閉鎖されるため、代替施設としてこのゾーンにアイススケート場を設置してください。 理由として、銀河アリーナスケート場は多くの人に利用されており、駅からも近いため便利です。 また、災害時の避難施設としても役立ちます。 リニア新幹線の開通後は全国規模の大会も可能です。ご検討よろしく申し上げます。			ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
86	公園整備事業意見の内容 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月に閉鎖になり、市として市有地に民設民営で整備するよう進んでいます。そのアイススケート場代替施設としてこのゾーンにお願いします。 理由 銀河アリーナアイススケート場は、平成3年に設立されこれまで多くの皆様に利用され近年では、老若男女年間13万人が利用しています。駅近なのでより多くの皆様が利用できます。災害発生時の避難施設となります。リニア新幹線の開通により全国規模の大会もできます。近隣に騒音のご迷惑は、かけません。 銀河アイスアリーナは、私の幼少期に遊び場として利用しておりました。その後も子供を連れてきてスケートを楽しんでいた貴重なスポーツ施設です。是非ご検討をお願いします。			ウ
87	淵野辺公園周辺街づくり案について、アイススケートリンクの建設を切に願います。 相模原の地に根を下ろし、子育てに励んだ20数年。 子ども達の物心がついた頃から、当たり前のように毎年銀河アリーナで、スケート遊びを楽しんできました。 子ども達や大人の方々のアイス競技への参加のきっかけとなる教室の数々は、他には例を見ないほど親切で、多くの方に愛されているのではないのでしょうか。 他の場所を見ると、こんなに環境が整っている場所はなかなかないんだなと気づきます。 そんな銀河アリーナも閉じられる事が決まり、無くなった時の事を考えると…… 多くの人がきっと、人生でアイススケートに触れる機会すら失われるのではないのでしょうか。 公に続けていくのが難しいなら、企業の力を使ってでも残していくべきスポーツ文化だと思います。 財産です。 多くの人達の夢のスタート地点になりうる場所を、新しい形で作り上げて欲しいと強く願います。			ウ
88	憩いと交流ゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケートリンクが令和9年3月末に閉鎖になり、市として市有地に民設民営で整備するよう進んでいます。そのアイススケートリンクの代替施設としてこのゾーンにお願いします。 理由 アイスホッケーをはじめとする氷上スポーツは、市内外から多くの利用者が訪れる重要な施設です。鹿沼公園はアクセスも良好で、地域の活性化やスポーツ文化の発展に貢献できる場所です。新しい施設を通じて、市民の健康促進と次世代の育成を支援し、相模原市のスポーツ拠点としてさらに発展することが期待できます。			ウ
89	運動施設 アイススケート場の新設について 息子はアイスホッケー、妻はカーリングを楽しんでおります。銀河アリーナが消滅することを悲しんでおります。施設維持費等の出費が多いことは理解しています。駅近なのでイベントを多くして入場料収入を確保し赤字補填して施設使用料金は格安にしてほしいです。先日の横浜BUNTAIでの首都圏初開催の日本カーリング選手権大会も好評だったそうです。（妻がスタッフで参加）。アイスホッケーも相模原に将来プロチームが、設立されるかもしれません。国際試合を誘致し、来場者が増えれば相模原市も活力が生まれ、小田急線延伸工事の芽が出るかも知れません。カーリング専用コート併設でおねがいします。相模原チームが決勝にのこりテレビ中継される夢をみました。正夢になります様に施設設置を、おねがいします。			ウ
90	公園整備事業について 銀河アリーナ閉鎖後冬季のスポーツ施設が市内にはなくなる事からアイススケート場施設としてこの公園内に設置をしてもらいたいです。 種目に限らず競技としてのスポーツからレジャーや遊び場として幅広い年代の方が利用できる場とし今の銀河アリーナから整備予定の鹿沼公園内に施設を造っていただけたらいろいろな意味合いで市民生活の向上や子育て環境などの多様性につながっていくと思います。			ウ
91	憩いと交流ゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月に閉鎖になり、その代替地について、このゾーンにスケート場を作ってください。 ①駅近なのでより多くの皆様が利用できます。②又災害時の避難場所として利用できます。③アイススケート場を是非相模原市に残して下さい。			ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	私は、この度、貴市において冬季のスポーツ施設としてスケートリンクを設置することを提案したく、意見を述べさせていただきます。近年、スケート人口の減少や冬季オリンピックに向けた選手層の縮小が課題となっている中、地域におけるこのような施設の設置は、長期的な視点で非常に大きな意義を持つと考えております。 1. 日本におけるスケート人口減少と将来の選手育成 近年、ウィンタースポーツ人口は減少傾向にあり、温暖化や道具・設備利用費の高騰が一因と考えられます。また、少子化の進行も影響し、冬季オリンピックの将来に不安（日本の冬季五輪参加の継続課題（選手層減少））を抱かせる要因となっています。特にスケートを親しむ人々の数が減少していることが、冬季スポーツへの関心低下とともに、施設の不足にもつながっていると考えられます。冬季オリンピックで活躍できる選手層を支えるためには、子供たちや若者たちにスケートを楽しむ機会を提供することが重要です。スケートリンクの設置は、将来のオリンピック選手を育成するための重要なステップであり、地域全体で冬季オリンピック競技への理解と支持を深める良い機会となります。選手層の充実に貢献するためには、スケート文化の振興が不可欠です。 2. 銀河アリーナをベースにしたスピードスケートクラブの活動 このような状況下で注目すべきは、銀河アリーナを拠点とした相模原市スケート協会の活動です。相模原SSCはこれまでに4名のオリンピック選手を輩出し、さらに毎年、世界大会に出場する選手を輩出しています。現在も、小学校1年生から30代後半まで約40名の選手が所属し、地域のスポーツ活動が国家レベルの選手層確保に大きく貢献していることを示しています。この活動を今後も維持し、発展させるためには安定した練習環境と施設の確保が不可欠です。地域の選手がより高いレベルで活躍するためにも、スケートリンクの設置が必要であり、競技人口の拡大にも寄与することが期待されます。 3. 他の市とのサービス差別化 また、近隣の市町村と比較してスケートリンクを有することは、貴市を他の地域と差別化する大きなポイントとなります。他の球技施設に投資する市町村は多くありますが、投資対効果を比較した場合、目立つ優位性を示すことが難しく、他市町村の成果の中に埋もれてしまう可能性があります(On of Them)。一方、スケートリンクを設置する市町村は少なく、リンクを設置した時点で既にオンリーワンの存在となり、優位性を確立しやすいといえるでしょう。スキー等と異なりスケートリンクは冬季スポーツを市民が身近に楽しめる貴重な施設であり、地域の活性化にも寄与する要素を多く持っています。市内でのイベントや大会の開催、冬季スポーツが身近で無い地域からの観光客誘致にも繋がり、地元経済にも好影響を与えるでしょう。他の市がまだスケートリンクを持っていない場合、貴市が先行して設置することで、冬季スポーツやレクリエーションを楽しむ選択肢を提供し、市民にとって魅力的な生活環境を整えることができます。			

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
92	4. 市民の健康促進とコミュニティの活性化 さらに、スケートリンクは市民の健康を促進し、コミュニティの絆を深める場ともなります。運動は心身の健康に寄与し、特に冬季には運動不足になりがちです。温暖化により猛暑・酷暑となる近年の夏季は熱中症のリスクが高まり、屋内外での運動が危険な状況になることもあります。また、春にはスギ花粉のアレルギー反応が悪化し、屋外で運動することが難しくなる人々も多くいます。こうした状況において、スケートリンクは酷暑・猛暑の夏季、冬季や春先の運動機会を提供し、市民の健康促進に大いに貢献する施設と言えるでしょう。 また、家族や友人と一緒に楽しめる施設として、市民の生活に彩りを加えることができ、地域全体の活性化に繋がります。 利用者数に関わらず、スケートリンクは年間を通して冷やし続ける必要があります。これら冷やすエネルギーをスケート以外の活動にも有効利用できるような展開活動を市民も巻き込み促してみたいかがでしょうか？（例えば、猛暑酷暑の夏季にはサブリンクを使用した幼児向け雪遊びイベント（砂場代わりの遊び場）や、高齢者向けのリンク内フロアでの散歩イベント、ジョギングランナー向けリンク内観客席上部周遊スペースの有料利用、談話室を解放して地域の夏季交流の場として提供するなど） 実際、私自身も小学生の息子と共に、毎週相模原市スケート協会が主催する早朝スケート教室やアイスホッケー教室に参加しています。それ以外にもアイスホッケーチーム活動への参加や、毎週の一般滑走も楽しんでおり、銀河アリーナで出会った地域の皆様に大変お世話になっています。みんなで練習を切磋琢磨しながら楽しくスケートをしています。 息子にとっても、リンクで知り合った子どもたちと一緒に練習や遊びをするだけでなく、リンクで知り合った様々な大人やお兄さんお姉さんたちとコミュニケーションを取る貴重な学びの機会となっています。また、スケート技術の共有や複数の親子間でのお菓子交換など、スケート以外の交流も生まれています。現在、公園などでの定期的な遊び・交流の機会が減少している中、スケートリンクはそのような交流の場として非常に貴重な場所だと感じています。 例えば、息子は最近、子ども同士でバレンタインデーやホワイトデーにチョコレートとお返しの手紙のやり取りを行う機会があり、これもまた銀河アリーナで得た素晴らしい経験です。こうした小さな交流が、地域の一体感を高め、コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。			ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	5. 現状の民間運営スケートリンクと市営スケートリンクの必要性 県内にはいくつかスケートリンクが存在しますが、すべてが民間によって運営されており、利用料が高額なため、気軽に利用することが難しい状況です。経済が低迷している日本において、特に家計が厳しい家庭では、スケートを楽しむことが難しくなっています。この点において、市が公営スケートリンクを提供することで、料金を民間よりも抑えることができ、より多くの市民が手軽にスケートに挑戦できる環境が整います。これにより、スケート人口を増加させ、地域のスポーツ文化をさらに活性化し、将来を担う多くの子供たちの可能性を公平に導くことができるでしょう。 6. スケートリンク設置の長期的な維持について スケートリンクの設置には一定の初期投資が必要ですが、将来的には運営やメンテナンス費用が課題となる場合があります。そのため、クラウドファンディングやふるさと納税などの手段を活用することも一つの方法として検討できます。これにより、市民や地域全体がスケートリンクの維持に関与することができ、柔軟な対応が可能となります。多くの市民が支援することで、施設の運営が安定し、地域の活動が持続可能となるでしょう。 さらに、リンクの冷却に必要となる電力について、例えば南清掃工場で行われているごみ発電（焼却熱を利用して蒸気を発生させ、タービンを回して発電し、その後、蒸気を温水プールの余熱として活用する方式）などの再生可能エネルギーを利用できれば、コストの低減に貢献することができます。このような環境に優しいエネルギー利用も、スケートリンクの運営の持続可能性を高める一つの手段となります。 ※同時に複合施設に温水プールも設け、これらへの余熱活用も合わせて行えば、清掃工場の再生エネルギー活用の有効活用事例として全国への模範ともなるのではないのでしょうか。 （南清掃のごみ発電(の売電部分をスケートリンク冷却に利用できませんか?)） 結論 スケートリンクの設置には施設の維持や運営に関するコストや準備が必要であることは承知しております。しかし、スケート人口の減少や冬季オリンピック選手の育成、地域差別化の効果を考慮すれば、その投資は大いに意義があり、将来的な地域発展に寄与するものと確信しています。市民にとっても有益であり、貴市の魅力をさらに引き出す施設となることは間違いありません。 ※清掃工場の再生可能エネルギーの有効活用の観点から、公園または複合施設エリアに温水プールの設置も併せて計画されてはいかがでしょうか。 ぜひ、前向きにご検討いただき、実現に向けての取り組みを進めていただけますようお願い申し上げます。			
93	淵野辺公園内の銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖となることから、このアイススケート場代替施設をこのゾーンに設置することを提案いたします。 アイスホッケー、ショートトラック、カーリング、フィギュアなどの競技スポーツからレジャーとしての滑走まで、ジュニアからシニアまで幅広い年代層に多く利用されている銀河アリーナの代替施設をこの地に設置することで、住民の満足と採算を両立できると考えます。 神奈川のスケート人口は大阪と同等です。がスケートリンクは神奈川3（新横浜・東神奈川・相模原）に対し、大阪は5以上(なんば・大阪プール・関大・堺・泉大津ほか)ありさらに隣接の西宮・尼崎・神戸・京都にもリンクがあり、それぞれのリンクが黒字経営をしています 鹿沼公園にリンクを造営しても採算は十分とれるものと考えます 私自身はアイスホッケーチームで活動しています。もし鹿沼公園にスケートリンクができれば年間40回ほどは利用させていたきたいと思っています 是非ご一考の上、実現に向けて計画立案をお願いいたします			ウ
94	○憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が閉鎖予定となっております。そのアイススケート場代替施設としてこのゾーンにスケートリンクをお願いしたいです。 アイスホッケーチームが神奈川県内だけで、ジュニアチームからシニアチームまで約60チームあります。県内に3つのリンクがある現在でも、リンクの使用枠の取得が厳しいのが現状です。さらに神奈川県はフィギュアスケートも盛んで、さらにカーリング、ショートトラックの選手等もいるなかでリンクが減ってしまうのは県内のアイススポーツの衰退につながります。アイススケート場は維持費用がかかる課題はございますが、なんとか現在のリンク数をなんとか確保できるようご考慮いただきたいです。			ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
95	神奈川県全体でアイスホッケーを盛り上げる為のスケートリンク設置 ○憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖となりますが、横浜市を拠点とするアジアリーグチーム、横浜GRITSも生まれ、Jr. チームの全国での活躍も目覚ましい 神奈川にリンクが少ない事をとても残念に思っています。 この上、銀河アリーナが閉鎖となれば更に、練習の機会、時間が減ってしまい、これからの発展に支障が生じてしまいます。 是非、神奈川のアイスホッケーを盛り上げる為にも切にスケートリンクの設置をお願いします。			ウ
96	相模原市にはスケートリンクが必要です。大切な子ども達のためにご検討下さい。			ウ
97	公園整備事業 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖となることから、当該アイススケート場の代替施設をこのエリアに設置することを提案いたします。 日本国内のアイススケート場の件数は近年減少傾向にあるとも聞こえてきている中で、アイスホッケーやショートトラック、カーリングなどの比較的マイナーと言われるスポーツだけでなく、近年人気と言われているフィギュアスケート等の振興という観点からもスケート場の数の現状維持は必須と考えます。 特に人口の多い首都圏での設置はスポーツ振興という理念だけでなく、採算面でも期待が出来るものと考えます。			ウ
98	公園整備事業 意外と交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月に閉鎖となり、市として市有地に民設民営で整備するよう進んでいます。 そのアイススケート場の代替施設としてこのゾーンをお願いします。 銀河アリーナスケート場は、毎週子供2人がスケートを習いに熱心に通っています。今後も毎年利用したいと切望しておりますし、子供らが大人になってからも、次世代と共にスケートを楽しめる空間として存続して欲しいと思っています。			ウ
99	淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖となることから、当該アイススケート場の代替施設をこのエリアに設置することを提案いたします。 日本国内のアイススケート場の件数は近年減少傾向にあるとも聞こえてきている中で、アイスホッケーやショートトラック、カーリングなどの比較的マイナーと言われるスポーツだけでなく、近年人気と言われているフィギュアスケート等の振興という観点からもスケート場の数の現状維持は必須と考えます。 特に人口の多い首都圏での設置はスポーツ振興という理念だけでなく、採算面でも期待が出来るものと考えます。			ウ
100	○憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 私は幼稚園の頃、祖父の影響から東神奈川でアイスホッケーを始め、そして淵野辺にある銀河アリーナスケート場にも幾度となく通わせていただきました。中学高校と一度アイスホッケーから離れましたが、学生時代も地元横浜にスケートリンクがあることによって定期的にリフレッシュの機会として家族や友人と訪れておりました。現在社会人チームに所属しておりますが、学生時代の頃から全試合に鶴見に住む祖父母が応援に駆けつけてくれています。祖父母にとっては孫の応援が何よりの生きるいきがいだ、と言ってくれております。 アイスホッケーにはそういった力があると信じております。 現在は神奈川県ジュニア強化スタッフとして、北海道や東北勢と互角に戦えるようになる日を信じて、子供たちの育成にあたっております。横浜初のプロアイスホッケーチーム横浜GRITSへ加入する選手を一人でも多く生み出せるような環境づくりを神奈川県一体で作っていただけることを強く願っております。 相模原市の皆様、鹿沼公園へのリンク建設に関して、是非とも前向きなご検討を何卒宜しくお願い致します。			ウ
101	令和9年に淵野辺公園内の銀河アリーナアイススケート場が閉鎖となると聞き、意見させていただきます。 先日、相模原市に暮らす友人が所属するアイスホッケークラブの練習を見学しました。子供から大人まで男女問わず、練習する姿に感動いたしました。折角根付いた活動を継続するために新しいアイスアリーナが必要です。鹿沼公園にアイスアリーナの新設を希望いたします。何卒、ご検討頂きます様、お願い申し上げます。			ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
102	鹿沼公園整備におけるスポーツ施設 日本におけるスケートスポーツの強化のため、大会開催が可能なスケート場の設置が必要と考える。近年、日本各地でプロアイスホッケーチームが設立されており、また、冬季オリンピックにおいても日本代表チームの活躍により、アイスホッケーに注目が集まっている。神奈川県は2025年の国体においても準優勝をしており、国内のアイスホッケーを牽引するポジションに在ると思料。 上記施設の開設によりプロチームの試合開催などを誘致し、県内市内の活性化にも寄与できものと思料。			ウ
103	公園整備事業 相模原市民の健康増進と多世代交流、スポーツ振興のために、銀河アリーナに代わる、市有地へのアイススケート場整備が必要と考えます。 理由① 健康面への効果 アイススケートの特異点として、氷の上でのスポーツであることから、地上では得づらい腸腰筋をはじめとした体のバランスを保つためのインナーマッスルへの意識を育みやすいこと、とくに県のスケート連盟指導者による指導の下、教室で基礎から学べることは、安全にかつ効率的にこれを鍛えることにつながります。 実際、実体験として、怪我をしてスケートを行わない間は酷い腰痛になり、座る立つ歩くすべての動作で痛みがない状態にするにはどうすればよいのかわからなくなり、リハビリをはじめ歩き方教室などにも通いましたがわかりませんでした。スケートを再開したところ、それらはすべて解消されました。 市民スケート教室では、3世代で通っている方もいて、年齢問わず、運動機能や健康年齢の向上効果が期待できます。この点は、子どもが行い親はサポートに徹することが多い野球や野球との大きな違いと考えます。 利用者数は市でも把握されていると思いますが、とくに早朝スケート教室の利用者は毎回百名を優に超えているものと思ひますし、継続性も高いと考えます。 理由② 教育・青少年育成への効果 スケート競技には多岐にわたり、学校教育での体験のほか、チームへの所属には、地元に行ける場所があることが肝要と考えます。また、大会開催も含めば、効果が高まります。 理由③ 地域活性化への効果 市民教室や大会、イベントを通じて地域交流のほか、リニア新幹線の開通も予定されていること、県内のスケート場をみても、駅近であるものは少ないことから、この場所でのスケート場設置は、観光や地域経済への波及効果が期待されます。			ウ
104	・憩いと交流ゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナが令和9年に閉鎖になり、市として市有地に民設民営で整備するよう進んでいます。そのスケート場代替施設をこのゾーンにお願いします。 理由 銀河アリーナは、平成3年に設立されこれまで多くの方々に利用され近年では、世代・性別を問わず年間13万人が利用しています。また、競技としてもショートトラックスピードスケートでは冬季オリンピック選手を輩出している地元相模原市にとっても重要な施設だと思ひます。 また、駅近のため多くの方が利用でき、災害時には避難施設としても活用できます。 今後リニア新幹線の開通により利便性もよく全国規模の大会も開催できます。騒音等を出すものもなく近隣に迷惑もかけることもなく、たくさんの人が来場されることで、相模原市の新たなシンボルともなり得ます。			ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
105	公園整備計画 銀河アリーナの閉鎖に伴い、市内外のスケート環境が大きく損なわれることが懸念されます。銀河アリーナは、市民の健康増進やスポーツ振興に貢献し、オリンピックも輩出するなど、重要な役割を担ってきました。そのため、淵野辺駅南口周辺まちづくりプランにおける跡地活用や市有地の有効活用の際に、新たなスケートリンクの整備をご検討いただきたく、ここに要望いたします。 スケートリンクは、世代を問わず楽しめる健康増進施設として、市内学校や地域クラブとも連携し、「地域に根ざしたスポーツ振興」の場として活用できます。また、駅近の立地を活かし、近隣市外や県外からの集客も期待でき、鹿沼公園のにぎわい創出にも寄与します。加えて、民間事業者との連携やネーミングライツ、クラウドファンディングなど、市民参加型の資金調達も可能です。 さらに、鹿沼公園リニューアル計画とも親和性が高く、「集う、動く、遊ぶ、学ぶ、憩う」のコンセプトに合致した多世代健康スポーツゾーンの核として整備できるほか、様々なイベントを開催できる柔軟な施設とすることで、公園全体の魅力を高めることも可能です。 スポーツ振興、健康増進、にぎわい創出、防災機能強化を一体的に担う次世代型施設として、銀河アリーナの役割を引き継ぎながら、淵野辺駅南口周辺の新たな地域拠点となることを期待します。 弊方の記憶に刻まれた貴重な施設である銀河アリーナの灯を消さずに、未来に向けたまちづくりの一環として、ぜひ積極的にご検討いただきますよう強く要望いたします。			ウ
106	○憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内の銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖となり、市として私有地に民設民営で整備するよう進められています。銀河アリーナスケート場の代替施設として、この多世代健康スポーツゾーンへのアイススケート場の設立を御検討お願い致します。 銀河アリーナアイススケート場は老若男女問わず近年では年間13万人が利用しています。スケート場は一時期の低迷から、冬季五輪の影響もあり近年再び人気が出始めており、スケート場の新設も相次いでいます。神奈川には横浜にしかスケート場が無い為、駅に更に近くなる事で、相模原市内のみならず周辺自治体からの来場者も見込めます。スケート競技大会の誘致もよりしやすくなると考えます。			ウ
107	○憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖となる経緯から、このゾーンにアイススケート場を代替設置することを希望します。 アイスホッケー、ショートトラック、カーリング、フィギアなどの競技は幅広い年代で楽しむことができ、子供たちの健全な育成や世代間を越えた交流の場となっています。スケート場を交通利便性の高いこの地に設置することは、スポーツやレジャーを通じた文化の多様性と市民生活の豊かさの実現に繋がると考えます。 また神奈川県からは世界レベルのスケート選出を輩出している点、横浜GRITSのような新しい形態のアイスホッケーチームが生まれている点からも、市民のスケート場へのニーズや期待は大きいと考えます。			ウ
108	鹿沼公園にスケートリンク開発事業 銀河アリーナが2027年3月に閉館になる予定なので、鹿沼公園に新たなスケートリンクを作り、相模原市がさらに盛り上がるだけでなく、人々の集まる場を作ること、スケートリンクというなかなかない場所を相模原に残すことはとてもメリットがあると考えます。			ウ
109	憩いと交流ゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケートリンクを令和9年3月末に閉鎖になり、銀河アリーナをホームとするアイスホッケージュニアチームの練習場所がなくなってしまうと、非常に困り、今後ジュニアチーム存続の危機となっています。そのアイススケートリンクの代替施設としてこのゾーンに是非再建をお願いします。 特に女子アイスホッケー日本代表はオリンピック出場も決まっております。今後ますます希望選手も増えると思います。是非練習の場所を与えていただきたいです。子供の夢をかなえてください。近隣にご迷惑はかけません。			ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
110	鹿沼公園にスケートリンク開発事業 近年、日本国内にスケートリンクが減少して来ている中、銀河アリーナも閉館になると聞きました。そうしたスケートができる環境がなくなってしまうことで、これからの子ども達がスケートをしたことがない子が増えてしまうことや、娯楽の一つであるスケートができる環境減ってしまうことは未来のオリンピック選手育成という観点でも、デメリットに働くと考えます。未来のオリンピック選手を相模原から出すためにスケートリンクを鹿沼公園に作っていただくことが必要だと考える。			ウ
111	淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖となることから、このアイススケート場代替施設をこのゾーンに設置することをお願いします。 アイスホッケー、ショートトラック、カーリング、フィギアなどの競技スポーツからレジャーとしての滑走まで、ジュニアからシニアまで幅広い年代層に多く利用されている現施設の代替を交通利便性の高いこの地に設置することは、スポーツを通じた文化の多様性と市民生活の豊かさの実現に繋がると考えます。 公営ということで現在貸切費用が民間リンクに対して安価に設定いただいております。リンク維持の経費を埋めるためにも、民間相場並みに貸切り利用料をあげても、リンク存続を望む団体からの理解も得られると思っています。なんとしてでも廃止は避け存続をお願いしたいです。			ウ
112	旧軟式野球場撤去跡の利用について 現在営業中の銀河アリーナは2027年に取り壊される予定ですが、軟式野球場跡をぜひアイスアリーナ立替をご検討いただきたいです。 関東圏内のアイスアリーナは急速に数を減らしており、一方でフィギュアスケートやアイスホッケーのプレーヤーが多い神奈川県において、アイスアリーナを保有する社会的意義も大きいと思います。			ウ
113	多世代健康スポーツゾーンへのアイススケートリンク設置を強く求めます 銀河アリーナ閉鎖に伴い、多世代健康スポーツゾーンへの代替施設設置が不可欠です。 提案理由 ・銀河アリーナは年間13万人が利用する市民の拠点。 ・駅近でアクセス良好、多世代の健康増進に貢献。 ・災害時の避難場所としても機能。 ・リニア開通で広域利用を促進、経済効果も期待。 ・騒音対策など、周辺環境への配慮も万全。 市民の要望に応え、多世代健康スポーツゾーンにアイススケートリンクを設置してください。			ウ
114	多世代健康スポーツゾーンへのアイススケートリンク設置要望 銀河アリーナ閉鎖に伴い、代替施設として多世代健康スポーツゾーンへのアイススケートリンク設置を強く要望します。 要望理由 ・銀河アリーナは長年市民に利用され、年間13万人が利用。 ・駅近で利便性が高く、多世代が利用可能。 ・災害時の避難場所としても有効。 ・リニア開通で全国規模の大会誘致も可能。 以上の理由から、多世代健康スポーツゾーンへのアイススケートリンク設置は、市民の健康増進、地域活性化、災害対策に貢献します。			ウ
115	多世代健康 多世代健康のために、天候に左右されない、また老若男女一緒に滑ることができるアイススケートリンクの開設を検討いただきたい。			ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
116	銀河アリーナに代わるスケートリンク事業 かつてスケートは寒冷地に特化したスポーツでしたが、アイスホッケー、カーリング、フィギュアなどのすそ野が広が り神奈川エリアでも全国的に活躍する選手の輩出が可能になってきました。（2025アイスホッケーでは成年国体2 位） 個人的にも以前4月に行われていたSSH大会には思い入れもあり、市民の方々との触れ合いも毎年楽しみにしておりま した。ぜひまた開催して頂けると嬉しいです。			ウ
117	鹿沼公園に冬季スポーツを楽しめる施設を併設することを希望します。 現在、銀河アリーナは2027年に閉鎖予定とされていますが、長年にわたり地域及び首都圏近郊に根付いた施設であり、 アイスホッケーをはじめとする冬季スポーツを楽しむ多くの市民にとって、なくてはならない場所です。施設の 閉鎖が地域に与える影響を考慮し今後も地域住民がアイススケートやアイスホッケーなどのスポーツを楽しめる場所 を残すため、鹿沼公園にスケート場を併設することを希望します。以下の理由提示いたします。 提案内容： 銀河アリーナの機能を鹿沼公園内に移転 銀河アリーナのアイススケート場の機能を、新たに整備される鹿沼公園内の一部に移転し、施設を残すことを強く希 望いたします。移転により、地域住民が引き続き利用できる場所が確保され、地域活性化にもつながります。 複合施設としての利便性の向上 銀河アリーナの機能を鹿沼公園内に移転することで、公園の利用価値が向上し、さまざまな世代が集まりやすくなる と考えます。アイススケートやアイスホッケーの施設とともに、親子連れやスポーツ愛好者、観光客など、多様な ニーズに対応できるような複合施設を整備することが、地域の付加価値にもなり、及び首都圏近郊の発展につながり ます。 地域経済への貢献 銀河アリーナを鹿沼公園内に移転することで、スポーツイベントや地域活動を活性化させるとともに、観光や地域経 済にも好影響を与えることが期待されます。駅に近いことから、地域のイベントや大会を開催する際には、交通の便 がいいことから周辺の商業施設との連携を深められ、地域全体の発展が見込まれると思われます。 結論： 銀河アリーナは多くの市民にとって大切な施設であり、その機能を鹿沼公園内に移転することにより、今後も地域の 活性化や住民の福祉向上に寄与することができると信じております。どうか、これらの意見を真摯にご検討いた だき、次世代に向けたまちづくりにおいて、冬季スポーツの施設を維持できるような形で進めていただけますよう願 い申し上げます。			ウ
118	淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖となることから、このアイススケート場代替施設 をこのゾーンに設置することをお願い申し上げます。 <思い>アイスリンクは雪の降らない地域でも楽しめるウィンタースポーツの施設であり、世界中で親しまれている 様々なスポーツを行うことができます。一つの施設で、アイスホッケー、ショートトラック、カーリング、フィギア などの競技スポーツから家族連れ、仲間同士でのレジャーでの滑走まで、幼児から高齢者まで幅広い年代が利用でき ます。現状の銀河アリーナにも足しげく通わせていただいておりますが、鹿沼公園であれば、さらに利便性がよくな り、より多くの方が来られると思います。ぜひ、この素晴らしい施設をこれからも相模原市で整備いただきたく、お 願い申し上げます。			ウ
119	淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖されるとのことですが、このアイススケート場に 代わる、新しいアイスリンクをこのゾーンに設置いただけませんか。 <思い>ぼくはアイスホッケーに夢中で取り組んでいます。自宅から遠くても、夜遅くても、銀河アリーナで滑れる ことができれば、かけつけています。これからも、相模原で滑りたいです。もっと上手になって、アイスホッケーの 魅力を伝えたいです。本当に面白いスポーツなので、きっと、他の有名なスポーツのように注目されるようになると 思います。その時、きっと、相模原市の皆様にもリンクがあってよかったと思っていただけると嬉しいです。どうか、 新しいリンクをつくってください。お願いいたします。			ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
120	淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖されるとのことですが、このアイススケート場に代わる、新しいアイスリンクをこのゾーンに設置いただけませんか。 <思い>わたしはアイスホッケーに夢中で取り組んでいます。自宅から遠くても、夜遅くても、銀河アリーナで滑れることがわかれば、かけつけています。これからも、相模原で滑りたいです。もっと上手になって、アイスホッケーの魅力を伝えたいです。本当に面白いスポーツなので、きっと、他の有名なスポーツのように注目されるようになると思います。その時、きっと、相模原市の皆様にもリンクがあってよかったと思っていただけたらと思います。どうか、新しいリンクをつくってください。お願いいたします。			ウ
121	淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖されるとのことですが、このアイススケート場に代わる、新しいアイスリンクをこのゾーンに設置いただけませんか。 <思い>わたしもお兄ちゃんやお姉ちゃんのように、アイスホッケーをやりたいです。スケートの練習は今もしています。滑る機会が少なく、もっと、本当は滑りたいです。リンクが減ってしまったら、ますます滑ることができないので、悲しいです。お願いします。新しいリンクを作ってください。			ウ
122	淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖となることから、このアイススケート場代替施設をこのゾーンに設置することをお願い申し上げます。 <思い>アイスリンクは雪の降らない地域でも楽しめるウィンタースポーツの施設であり、世界中で親しまれている様々なスポーツを行うことができます。一つの施設で、アイスホッケー、ショートトラック、カーリング、フィギアなどの競技スポーツから家族連れ、仲間同士でのレジャーでの滑走まで、幼児から高齢者まで幅広い年代が利用できます。現状の銀河アリーナにも足しげく通わせていただいておりますが、鹿沼公園であれば、さらに利便性がよくなり、より多くの方が来られると思います。ぜひ、この素晴らしい施設をこれからも相模原市で整備いただきたく、お願い申し上げます。			ウ
123	淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖となることから、このアイススケート場代替施設をこのゾーンに設置することをお願い申し上げます。 <思い>アイスリンクは雪の降らない地域でも楽しめるウィンタースポーツの施設であり、世界中で親しまれている様々なスポーツを行うことができます。一つの施設で、アイスホッケー、ショートトラック、カーリング、フィギアなどの競技スポーツから家族連れ、仲間同士でのレジャーでの滑走まで、幼児から高齢者まで幅広い年代が利用できます。現状の銀河アリーナにも足しげく通わせていただいておりますが、鹿沼公園であれば、さらに利便性がよくなり、より多くの方が来られると思います。ぜひ、この素晴らしい施設をこれからも相模原市で整備いただきたく、お願い申し上げます。（家族がアイスホッケーに夢中で、銀河アリーナをたびたび利用させていただいておりますので、心から、アイスリンクの新設を祈念しております）。	3		ウ
124	銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖となることから、このアイススケート場代替施設をこのゾーンに設置することをお願いします。 私はアイスホッケーチームに所属しており、チーム創設35年間の伝統があります。10代～60代がチーム内外問わず同じスポーツで幅広く交流できるのはスケートリンクがあるからこそで、若者の教育、成長や中高年の健康年齢の維持にもつながります。自分は県外出身者ですが、他県から見ると相模原は一般のスケート人口も多くて週末もにぎわっており、オリンピック選手も輩出した他地域には無い誇りがあります。この貴重な財産は絶対に無くすべきではないし、後世にも継続的に残して頂きたいと思います。			ウ
125	スケートリンク 長男が今年アイスホッケーを始めました。銀河アリーナ、ひいては相模原市さんのおかげです。ただ、非常に貴重なスポーツだとも理解しました。 ぜひアイスホッケーのできるスケートリンクを作ってください。			ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
126	憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月に閉鎖になり、市として市有地に民設民営で整備するよう進んでいます。そのアイススケート場代替施設としてこのゾーンにお願いします。 理由 銀河アリーナアイススケート場は、平成3年に設立されこれまで多くの皆様に利用され近年では、老若男女年間13万人が利用しています。駅近なのでより多くの皆様が利用できます。災害発生時の避難施設となります。リニア新幹線の開通により全国規模の大会もできます。近隣に騒音のご迷惑は、かけません。 家族で気軽に楽しめるスポーツスケートを駅近くにぜひスケートリンクを作ってください。			ウ
127	憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月に閉鎖になり、市として市有地に民設民営で整備するよう進んでいます。そのアイススケート場代替施設としてこのゾーンにお願いします。 理由 銀河アリーナアイススケート場は、平成3年に設立されこれまで多くの皆様に利用され近年では、老若男女年間13万人が利用しています。駅近なのでより多くの皆様が利用できます。災害発生時の避難施設となります。リニア新幹線の開通により全国規模の大会もできます。近隣に騒音のご迷惑は、かけません。 温暖の地神奈川県でスケートのオリンピックや世界大会に代表する選手を送り出している相模原に銀河アリーナスケートリンクに代るリンクをぜひ鹿沼公園に作ってください。			ウ
128	憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月に閉鎖になり、市として市有地に民設民営で整備するよう進んでいます。そのアイススケート場代替施設としてこのゾーンにお願いします。 理由 銀河アリーナアイススケート場は、平成3年に設立されこれまで多くの皆様に利用され近年では、老若男女年間13万人が利用しています。駅近なのでより多くの皆様が利用できます。災害発生時の避難施設となります。リニア新幹線の開通により全国規模の大会もできます。近隣に騒音のご迷惑は、かけません。 神奈川県でスケートの日本を代表する選手を輩出している銀河アリーナスケートリンクは他県の羨望となっています。切れ目なく続けられるようこのゾーンにスケートリンクを作ってください。			ウ
129	憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンにアイススケート場を代替設置することを希望します。 また神奈川県は世界レベルのスケート選出を輩出しており、また横浜GRITSのような新しい形態のアイスホッケーチームが生まれている点からも、市民のスケート場へのニーズは高まると考えます。スケート場の利用用途はレジャーだけでなく、アイスホッケー、ショートトラック、カーリング、フィギアなど多岐にわたる点、子供から高年齢層まで一緒に楽しむ競技が多い点からも市民の生活の豊かさにつながると考えます。 銀河アリーナのクローズする点から、本ゾーンにてスケート場の継続が好ましいと考えます。			ウ
130	憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて、アイススケート場を設置することを希望します。 氷上競技は幅広い年代が一緒に楽しむことが出来る点が特徴だと思います。スケート場は子供たちの健全な育成や世代間を越えた交流の場となっています。スケート場を交通利便性の高いこの地に設置することにより、今まで以上にスポーツやレジャーを通じた市民生活の豊かさの向上につながると感が増す。 また神奈川県からは世界レベルのスケート選出を輩出している点、横浜GRITSのような新しい形態のアイスホッケーチームが生まれている点からも、スケート場の存続は市のイメージ向上や活性化につながると考えます。			ウ
131	○憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて このゾーンにアイススケート場を代替設置することを希望します 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖となりますが、アイスホッケー、ショートトラック、カーリング、フィギアなどの氷上競技は幅広い年代で楽しむことができ、子供たちの健全な育成や世代間を越えた交流の場となっています。スケート場を交通利便性の高いこの地に設置することは、更なるスポーツやレジャーを通じた市民生活の豊かさ向上につながると考えます。			ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
132	○憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて アイススケート場を設置することを希望します。 淵野辺公園内にある銀河アリーナスケート場が令和9年3月で閉鎖となるため、代替の施設だと考えます。 また神奈川県からは世界レベルのスケート選出を輩出している点、横浜GRITSのような新しい形態のアイスホッケーチームが生まれている点からも、市民のスケート場へのニーズや期待は大きいと考えます。氷上競技は幅広い年代が楽しんでおり、世代間を越えた交流の場となっています。スケート場を交通利便性の高いこの地に設置することで、スポーツやレジャーを通じた文化の多様性と市民生活の豊かさの実現に繋がると考えます。			ウ
133	憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて このゾーンにアイススケート場を代替設置することを希望します 神奈川県3の政令指定都市であり県中西部の中心である相模原市内の駅徒歩圏内にスケートリンクを存続させることは、相模原市の教育レベルの維持向上だけでなく町田市を含む近隣の都市にとっても有益と考える。 特に日本のカーリング、アイスホッケー(女子)のレベルが顕著に上がっているなか北海道だけで普及・育成活動をしていずれあたま打ちになるおそれがあり、首都圏の大都市からこれ以上スケートリンクを無くすことがないよう、要望する。			ウ
134	憩いと交流のゾーンの多世代健康スポーツゾーンについて このゾーンにアイススケート場を代替設置することを希望します 銀河アリーナのクローズが決まった中、駅徒歩圏内にスケートリンクを存続させることは、相模原市の青少年の健全な成長への維持向上を始め、町田市を含む近隣の都市にとっても有益と考えます。 特に世界レベルのフィギュア選手の登場や、日本のカーリング、アイスホッケー(女子)のレベルが顕著に上がっているなか、皆が注目する日本の氷上競技へ発展に寄与することは、市としてもメリットがあると考えます。			ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
③ 第3章 複合施設整備計画に関すること				
135	公園整備計画の複合施設ゾーン事業 私は年間65冊の本を読んでいます。図書館が私の生きがいになっております。私は一日は、早朝散歩（淵野辺公園）をし、午前中自宅で読書し、午後図書館に行き読書し夕方帰宅します。一週間を通してみますと、土・日・祝日は中・高・大学生が図書館に集っていますので、私のような老人は座る席もなく、（2F）なく、1Fの空いている席を探して読書しています。平日は中・高・大学生がいないので、比較的2Fの読書室でゆっくり読書できます。私は今回の複合施設ゾーンの配置計画において、今までと同じ面積の図書館における読書室のスペースを確保していただきたいと思います。あと毎月図書館の「ミニ・シアター」を楽しみにしております。年金生活者ですので、無料で楽しめる「ミニ・シアター」がありがたいです。「ミニ・シアター」で開催できるスペースも確保していただくとありがたいです。 淵野辺公園のウォーキングコースがされ、今まで雨が降ると道がぬかって歩きづかったのですが、舗装されて雨が降ってもぬからないので感謝です。ありがとうございます。健康寿命を伸ばすために頑張って歩きます。最近では物価が上がりその割合に年金生活者は年金が物価上昇に追いつかず先細り状態です。こういう中において、図書館で無料で本を借りられて、希望する本の98%位が神奈川県内の図書館から取り寄せてもらえるので大変ありがたいです。どうか今までと同じ読書室スペースが確保していただけるようよろしくお願い致します。生活の利便性を重視するだけでなく、文化も大切にしてください。		静かな環境で読書等に集中できるサイレントルームや学習室、また、映画も上映できる大会議室などを整備してまいります。	イ
136	3-4施設の想定規模及び性能イメージ（2）市民利用スペース ア フリースペース 利用者の交流の活発化を実現するために、軽食をとれるスペースや機能が必要と考えます。 例 売店や電子レンジ、給湯設備、移動販売など		お茶を飲みながら会話を楽しめるようなフリースペースを整備してまいります。また、売店などにつきましては、いただいたご意見も参考に、民間事業者からの提案による導入を検討してまいります。	イ
137	3-4施設の想定規模及び性能イメージ（2）市民利用スペース ウ 子どものためのスペース 異年齢交流や子育て交流実現のために、3つに区分したそれぞれのエリアが繋がった交流しやすい設備であることが必要と考えます。 例 壁で仕切るのではなく、座った状態でも他のエリアが見えるようなエリア区分。兄弟がいる場合など、子供ごとに入れるスペースが違おうと使用できない状況もありうるので。 3-2導入機能（1）図書館機能 イ施設整備 b読書・学習エリア 多様性のある社会づくりの実現のために、発達特性のある方でも使いやすいように合理的配慮を取り入れたスペースづくりが必要と考えています。 3-2導入機能（5）児童館機能 子育て支援強化の実現のために、親が子育てのことを相談できる機能を合わせることで親子で利用しやすくなると思います。 例 離乳食相談、発達相談、育児相談、親子参加によるグループワーク（茶話会）など		子どものためのスペースの仕様につきましては、いただいたご意見も参考に検討してまいります。また、誰もが安全・安心に利用できる施設とするとともに、合理的配慮について気軽にご相談いただける環境を整えてまいります。	イ
138	図書館 1)現在の図書館は狭く、暗いので、行きたくない。特に閲覧コーナー。 4)図書館に行かなくても、コンビニでの貸出図書の実受しが出来たら便利		施設全体として、何度も行きたくなる、ずっと滞在したくなるような空間を目指してまいります。また、中央図書館機能を確立する中で、本市全体の図書館サービスの向上に向け、いただいたご意見も参考に取り組んでまいります。	イ
139	図書館 駐車スペースが少ない。 大きなスペースに、共通駐車場と公共設備を小分けして配置しては？		駐車スペースにつきましては、鹿沼公園及び複合施設利用者の駐車場を設置し、駐車台数は、利用者の増加を勘案し、140台程度を下限とし、民間事業者の提案を募ることにしています。	イ
140	概要版P4（6）複合施設ゾーン 「緑地や広場空間を複合施設の屋上に配置」するに当たっては、近隣居住者のプライバシーを侵害したり、騒音などで高齢者を患わせないような建物の配置、及び設計を御願います。		複合施設の整備に向けては、周辺の住環境や景観に配慮した施設としてまいります。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
141	公園に整備する複合施設は3階建てとするとの経済観念の欠如した計画です。その中に、6施設を設けようとは、具体性がありません。図書館は中央図書館の位置付けとするのことでですから、それは単一の5階建てで図書館機能に特化したものとし、貸室、スタジオなど図書館とは異なる機能は排除すべきです。 その他の事として考えるときに、駅前まちセン、公民館、児童館については、複合化し立体駐車場を併せて建設すべきです。 青少年学習センター、国際交流ラウンジは現在のままで変更・集約する必要はありません（跡地利用に伴うメリットがありません）。 以上を基本理念に再度の計画案の提出を望みます。 相模原の文化を新しく創造し顕在化させましょう。それが本計画策定の市の責務です。		複合施設の整備に向けては、いただいたご意見も参考に検討してまいります。	ウ
142	複合施設整備計画について 今般、鹿沼公園からもほど近い淵野辺公園内に運営されている複合スポーツ施設である銀河アリーナが27年3月末に廃止される予定であること、現在も民間スケートリンク設置・運営の可能性を検討して頂いていることなど承知しています。 私自身、そして家族もアイスホッケー競技者として長年にわたり銀河アリーナを使用させて頂いており、銀河アリーナを通じて地域に根付いたスケート文化を日々実感し、また、既にスケートリンクが消滅した川崎市民として羨ましく思っていました。多くの相模原市民が慣れ親しみ、多くの優秀な競技者を生み出してきたスケート文化は相模原市民の皆さんが誇るべきものであり、リンク廃止となれば残念ながら消滅してしまう文化だと思います。長年にわたり積み上げられてきた地域の皆さんのスケート文化を承継させるにあたり、今回の鹿沼公園に設置される複合施設にスケートリンクを設けることが最善策ではないでしょうか。 近時公表された銀河アリーナに関する中間報告では、鉄道駅からアクセスしやすいことが立地条件の一つとして示されており、鹿沼公園であれば銀河アリーナと異なり淵野辺駅至近位置でもあることからスケートリンクの設置には最適と考えられます。 銀河アリーナが廃止されるこのタイミングで鹿沼公園に複合施設の設置計画があることは偶然かもしれませんが、市民に根付いた文化の承継は淵野辺駅南口周辺のまちづくりのビジョンに合致するものと考えられますし、駅周辺の程よいにぎわいを創出する上でスケートリンクは最適の施設だと思います。是非複合施設整備計画にあたってご検討頂きたく意見を提出します。		複合施設内にスケートリンクの機能を設けることは、位置付けておりません。 なお、民間アイススケート場の設置・運営については、必要な敷地が確保できる場所の条件整理や民間事業者へのヒアリングなど、実現可能性についての調査を令和6年度に実施したことから、これに基づき市の対応方針を検討してまいります。	ウ
143	第3章 複合施設のコンセプト「目的がある人もない人も、誰もが気軽に利用できる公園のような施設」 このような施設が本当に必要だとも思います。 公園があっても色々と制限が多く、また中学生、高校生が立ち話をしているだけでも学校へ通報されるなど、子どもたちの居場所の一つとなると思います。 淵野辺に限らずこのような施設が増えることを希望します。		複合施設のコンセプトの実現に向けて、引き続き取り組みを進めてまいります。	イ
144	今回の案は、数年前の案よりも改善がみられるものの、矢部駅近くの青少年学習センターは、そのまま今の場所に存続させて欲しいと思います。利用者の不便さが解消されないからです。		青少年学習センターは、青少年の健全育成にもつながる様々な相乗効果が期待できることから、現在地から移転し、新たな複合施設として整備してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
145	最近、市民の皆様が大変人気がある銀河アリーナスケート場が、近々廃止されるという噂を耳にしました。もし事実であれば、今回の複合施設内に是非、設置して欲しいと思います。市民の利用者の皆様が大変喜ぶと思います。		複合施設内にスケートリンクの機能を設けることは、位置付けておりません。 なお、民間アイススケート場の設置・運営については、必要な敷地が確保できる場所の条件整理や民間事業者へのヒアリングなど、実現可能性についての調査を令和6年度に実施したことから、これに基づき市の対応方針を検討してまいります。	ウ
146	鹿沼公園・公共施設再整備について 鹿沼公園の公共施設再整備に関する意見募集を知り、元相模原市民として僭越ながら申し上げます。現在、相模原市から離れて横浜市に住んでおりますが、月に数回は銀河アリーナを利用しております。2027年3月をもって閉館すると聞き、大変残念な気持ちでいっぱいです。可能であれば営業を継続して頂きたく存じます。しかし、鹿沼公園の複合施設整備をする事を知り、可能であれば新しいスケーリングの建設を希望します。神奈川県は比較的にスケート人口が多い県だと思います。銀河アリーナ閉鎖後、相模原市周辺の利用者が競技の継続が難しくなり、競技人口の減少に繋がってしまう恐れがあります。つきましては、この度の複合施設整備基本計画にスケートリンクの建設を入れていただければ幸いです。 よろしくお願い申し上げます。			ウ
147	基本的な考えとして、地域の活性化のためには、いわゆる「公園部分」を必要以上に残すのではなく、学生から高齢者までの広い年齢層が魅力を感じる商業施設と図書館、公民館、児童館などの複合施設をとを一体化した「総合複合施設」を新設。 そして、その「総合複合施設」に併設する駐車場ビルを中心として公園をゾーン分けしてはどうかと思います。 タウンニュースに記載された地図の「複合施設ゾーン」と「遊びのゾーン」を利用して「総合複合施設」と駐車場ビルを建築。		複合施設の整備に当たっては、公園や周辺の住環境に配慮した施設としてまいります。また、鹿沼公園は地域住民の利用を想定した地区公園であることから、ゆとりのある空間を含んだリニューアルを実施することとしており、「遊びのゾーン」に含まれる児童交通公園や遊具広場は多くの子どもたちに利用されていることから、今後も多くの子どもたちが楽しんで利用できるよう場所としてまいります。	ウ
148	移築新装される図書館は、淵野辺駅が大学生の乗降人数が極めて多いことも念頭に、政令指定都市、文化都市として誇れる、内容、面積ともに充実した図書館としていただきたいです。		図書館については、中央図書館機能の確立・充実に向けた各取組を進め、本市図書館全体のサービス向上を図ってまいります。	イ
149	複合商業施設に誘致する事業者の選定に当たっては、これまでの相模原市との付合いにより生じる各種事業者とのしがらみ等を排除し、幅広い年齢層が純粋に魅力を感じる「行ってみたい」と思える事業者の選定を行っていただきたいです。 例えば、日本全国レベルで減少が社会問題となっている書店ですが、淵野辺駅前に有隣堂が有るものの、取扱い書籍数は極めて少なく、駐車場も無いため、通勤等で駅を利用する場合にしか利用できないため、内容、アクセスの両面ともに魅力の無い存在です。 近隣に住んでいながら、雑誌、書籍を購入する際には、アリオ橋本や町田エリアまで足を延ばす必要があります。 ですので、有隣堂に移転を促すなど、巨大書店を開店してもらい、市立図書館との巨大な複合施設とするというプランも一つの魅力的なプランではないでしょうか。		書店などの便益施設については、利用者の利便性の向上が図られるよう、民間事業者からの提案による導入を検討してまいります。	イ
150	3－4施設の想定規模及び性能イメージ （3）図書館 ○サイレントルーム、学習室、グループ学習室は、各々専用の部屋でなく、共用できるスペースであることで、有効活用できると思います。 ○対面朗読室は、「専用のスペースを設けるのではなく、複合施設の諸室を活用します。」とあり、相談室もその役割を持つことが書かれていますが、いつでも必要なときに、安心して対面朗読ができるよう、必要な機能と心地よさを備えた専用の部屋を、図書館の中に設置してください。 対面朗読は、小説のような一冊の本を全部読むということだけでなく、必要な資料を図書館の中で探す手助けも必要なので、何冊かの本の、目次とあらすじだけを読んでもらって、自分に必要なものを見つけ出すというような、作業もできます。		読書、学習、調査・研究については、様々な取り組み方があり、ニーズに応じた仕様とすることから、共用は難しいものと考えています。 また、対面朗読室については、相談室と機能が類似することから、複合施設全体の中で整備し、効果的に活用することとしています。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
151	3-4 施設の想定規模及び性能イメージ (4)その他の諸室 相模原市録音奉仕会ひばりからの要望です。 録音奉仕会は1978年より視覚障害者等への音訳ボランティア活動に取り組んでいる団体です。主な活動内容は、相模原市からの委託を受けた市広報などの音訳、市や利用者さんから依頼された本の音訳、そして障害のある方が希望するものを本人と相対して読む対面音訳があります。案では、複合施設の相談室が対面朗読室としての機能を備える必要がありますが、いつでも必要な時に対面音訳(朗読)ができ周囲の音や声に影響されることのないような専用の部屋が必要です。是非そのような部屋を図書館内に設置してください。		対面朗読室については、相談室と機能が類似することから、複合施設全体の中で整備し、効果的に活用することとしています。	ウ
152	複合施設について 屋上緑化や壁面の利用により周辺の景観に配慮する。		複合施設の整備に向けては、周辺の住環境や景観に配慮した施設としてまいります。	イ
153	売店等の確保について 公園や複合施設利便性を考え、屋内外にどちらかに確保すべきです。経営民間や福祉団体等で良い。		にぎわいや交流の創出、利用者の利便性の向上が図られるよう、民間事業評者からの提案によるカフェ等の導入を検討してまいります。	イ
154	資料編P55(ウ)和室 利用実態は少なくとも3→1室になり、さらに現茶室(53㎡)より小さい(40㎡)になるのは利用している側としては困る。せめて、現和室(75㎡)1室にして欲しい。		和室については、利用実態を踏まえ集約することとしています。詳細な仕様につきましては、いただいたご意見も参考に検討してまいります	ウ
155	2-3各ゾーンの考え方、整備イメージ P16 ウ 利用者専用駐輪場 公園利用者の駐輪場の整備については効果的な場所とあるが、複合施設の利用者の駐輪場について書かれていませんでした。現公民館、図書館の駐輪場の分くらいは整備して欲しい。		複合施設利用者の駐輪場についても、公園利用者の駐輪場と合わせて整備してまいります。	イ
156	施設の想定規模の件 現状よりも複合化後の市民利用スペース、図書館、その他の諸室と全て減少傾向となっているが、今まで各施設で貸室を利用してきた団体の活動は持続可能なのだろうか。		貸室については、これまで行われてきた活動が継続できるよう、現状の各施設における貸室全体の利用可能コマ数を維持できる数を整備してまいります。	イ
157	フリースペースの件 フリースペースは相互利用可能な場所として円滑に機能するのだろうか。特定の個人により専用利用地となってしまうのだろうか。		フリースペースについては、誰もがゆっくり過ごせるスペースとして整備してまいります。また、必要に応じて、利用ルールなどを検討してまいります。	イ
158	コンビニの件 飲食できると長い時間の利用が可能になります。		にぎわいや交流の創出、利用者の利便性の向上が図られるよう、民間事業評者からの提案によるカフェ等の導入を検討してまいります。	イ
159	P31、(2)イ、P53、(2)ア 貸室の利用状況分析の調査 分析の基礎になる調査年度が、コロナ禍の影響下と考えられる時期(令和2年初頭から令和5年前半)真ただ中の令和4年度になっているのは、多くの人が不思議に感じていると思います。明らかに平時の数字ではないものを、分析・数値算定評価のベースとするのは仕事としてまずいと思います。単純に古い資料の数値がそのまま残った状態だとしたら、例えば、コロナ前の令和1年度あたりの数字をベースに改定すれば、正確になるのでは。		令和4年度3月のまちづくりビジョン策定後、速やかにまちづくりプランの検討を進めたことや、各施設の利用状況が回復傾向であったことから、令和4年度の実績値を採用したものです。	ウ
160	P31 イ(イ)アトリエ 文面では「作業台や流し台があり、絵画、工作等、様々な創作活動に利用可能」とありますが、相模原市でこれだけの一大複合施設を作り、公民館も青少年学習センターも児童館も入るというのに、通常の「工作室」が考慮されない?のは想定外です。 そこには、広い黒板、プロジェクトとスクリーン、十分な流しと電源コンセントと作業スペース、小さすぎない作業机/実験机、解放できるカーテン付きの窓が欠かせません。実際に小学生に実験教室(STEM教育)で教える側として、市に参考にしていただきたいのは次のようなイメージです(町田市科学教育センタHPより)。なお、基本案にある写真の「アトリエ」は、写真映りは良くても、利用者の多くには使い勝手が良くない例に感じました。 子供達への理科教育、大人たちの生涯教育・リスキリングはますます重要です。それを「アトリエ?」一室というのは考え方の違いかもしれませんが、これまで小学生向け実験教室で、大野北公民館の工作室にお世話になっているので心配です。大きな部屋も含め19室以上あるのに、教育目的メインの貸室1つが有るか無いかという現状の部屋割り案は疑問です(部屋数でみても5%)。		アトリエの詳細な仕様等については、いただいたご意見も参考に検討してまいります。 また、その他の貸室においても、多目的な活動ができるような仕様を検討してまいります。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
161	P.30 3-41(1) 規模想定なのですが、この複合施設で活動する団体向けに貸ロッカーを利用できるように計画案にいただけないでしょうか。廊下等の共有スペースに算入すれば面積に影響は与えないかもしれませんが、ロッカーの設置スペースをあらかじめ考慮した施設の共有部の設計がされれば、よりスムーズに多くのロッカーが設置できるのではないかと思います。 現在の大野北公民館では利用サークル協議会が公民館と管理をしてくれてロッカーを使わせていただいていた、（ロッカーが狭い問題はありますが）団体活動をするうえで大変に助かっています。		ロッカーの設置については、利用方法等を含め、いただいた意見も参考に検討してまいります。	ウ
162	P.31 (2) フリースペース フリースペースについては、「窓口の待合スペースと一体に」と書かれていますが、場所的には両者は別ものとして切り離していただきたいと思います。またフリースペースには机と椅子もおいいただいて、貸室での活動が終わった後に臨時に短いミーティングが必要になった場合にも、場所の確保に困ることなく使えるようなスペースであって欲しいと思います。その点で、現在の大野北公民館の3F スペースが役立っていて、非常にありがたいです。		フリースペースについては、いただいたご意見も参考に、少人数での打合せ等で利用できるスペースとして整備してまいります。	イ
163	P.21 (1) 図書館機能 昨今のデジタル化で、図書館を廃館する市町村もでてきました。今後も今まで通りの図書館、蔵書数を維持する必要があるのか、しっかりご検討いただき、不要に蔵書スペースを作るよりは、自由利用・活動スペースの拡充も視野にいてご検討いただきたく存じます。		図書館の蔵書については、中央図書館機能の確立に必要な数を算定したところです。なお、気軽に利用できるフリースペースを整備してまいります。	イ
164	P.29 (1) 施設の想定規模 複合化後の延床面積が約7500㎡となっておりますが、大規模事業評価委員会の答申にもありましたように、この計画が相模原市としても重要なものであることから、7500㎡に縛られず、かつ周辺への圧迫感が強すぎない（高層すぎない）施設をご検討いただきたく思います。		複合施設の整備に向けては、いただいたご意見も参考に検討してまいります。	イ
165	対面朗読室は、図書館スペースの中に設置が必要です 34p (3) 図書館の項 【理由】 読書バリアフリーのために、対面朗読室はきちんと図書館の障害者サービス部門に位置づけられるべきです		対面朗読室については、相談室と機能が類似することから、複合施設全体の中で整備し、効果的に活用することとしています。	ウ
166	各エリア（一般図書、子どもの本、ティーンズ、読書・学習・調査研究等の各エリアに追加して、読書バリアフリーのエリアを追加する 34p (3) 図書館の項 【理由】 障害者の読書バリアフリー法が施行され、その実現のために、豊富な資料や利用しやすい読書環境の整備が図書館として重要であるため		読書バリアフリーについては、必要性を認識しており、いただいたご意見も参考に、取組を進めてまいります。	イ
167	図書館資料の分散配置について。 図書館資料と各施設の機能をつなぐための先進事例もあり、新しいチャレンジだとは思いますが、ただ図書館の様々な利用者のワンストップ、利用のしやすさを考慮すると、他施設におく資料は、複本が望ましいと思います。 23p イ (ア) a 書架の配置等		書架の配置については、図書館が複合施設全体をつなぐ役割を果たせるよう、いただいたご意見も参考に、取組を進めてまいります。	イ
168	3-4施設の規模と性能イメージ ・様々なことを踏まえての規模だと思いますが市民の利用スペースが地域住民の利用が阻害されないように、配慮をお願いしたいです。幅広い市民の利用区域と地域住民の優先利用区域がゆるやかに混じりながらの工夫を期待します。 ・相談室は相互利用とのことですが、1室（小室を複数）に限らず、緩やかな利用を進めるためにも、コミュニティ室との連動型になれるようにしたいと思います。 ・図書が様々なところに点在するのは賛成ですが、関わる職員が複合施設全体概要を周知していることが市民としてはうれしいです。担当ではないので・・・との対応は極力避けたい。そのことも踏まえた上でゾーニングを頭に入れて民間の知恵導入に期待します。		貸室の予約については、自主事業や優先予約等にも配慮する運用を検討してまいります。 相談室については、市民が安心して相談することができるプライバシーに配慮した場所を確保するため、コミュニティ室との連動は難しいものと考えています。 鹿沼公園及び複合施設の管理・運営については、可能な限り一体的に行うことで、縦割りとならないよう、市民が利用しやすい空間づくりを行ってまいります。	イ
169	4-3 その他の管理運営 市民が運営に関わることの仕組みづくりに市民の声が反映できるように公募してください。		市民が運営にかかわることができる仕組みについては、いただいたご意見も参考に検討してまいります。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
170	図居館の充実 ・書籍、雑誌をもっと多く蔵書してほしい。 ・他の自治体の図書館にすばらしい建物があります。美しい建築を希望します。 ・出版物はすべて蔵書するくらいの心もちで収蔵してほしい。 ・今の図書館は狭く感じます。新図書館は広い空間を期待します。		図書館については、中央図書館機能の確立・充実に向けた各取組を進め、本市図書館全体のサービス向上を図ってまいります。	イ
171	・フリースペースについて 計画が持ち上がった頃は、複数施設に重なる部分は減らしていくという話だったのが、フリースペースはしっかり確保する形に変わっており、私たちの声を反映していただけて嬉しく思います。会話をしたり軽食をとったり、という使い方ができるのも魅力です。ぜひ実現をお願いします。		フリースペースについては、誰もがゆっくり過ごせるスペースとして整備してまいります。	イ
172	・会議室について 定員30人以上の部屋が11→6部屋に減ることについて、利用人数の実績に合わせて小部屋を増やした、とありますが、50人規模の活動や、少人数でも広さがほしい活動(子どもとの遊びの活動など)をしている者としては、大きめの部屋も残してほしいです。 複数の部屋を一体的に使えるように、というのはパーテーションで区切るような形になるのでしょうか？だとしたら音漏れなどが気になります。広く使いたい人にも使いやすい形になることを願っています。		貸室については、10人以下での利用が多いことから、少人数用の会議室を確保しつつ、稼働壁等により複数の会議室の一体的な利用も可能とするよう整備してまいります。詳細な仕様につきましては、いただいたご意見も参考に検討してまいります。	ウ
173	・利用料の減免措置について 私の所属する相模原おやこ劇場では、高校生や青年(大学・専門学生～社会人)が活動しています。高校生・青年は、公民館は有料(中学生までが無料対象)、青少年学習センターでは免除(青少年団体)です。そもそも公民館で学業が本分である高校生や学生から利用料を取ることで自体反対なのですが、複合化後も青少年団体の利用料免除は継続してください。		貸室の利用料金については、現在の利用ルール等を踏まえつつ、いただいたご意見も参考に検討してまいります。	イ
174	・貸切のイベントについて 相模原おやこ劇場では毎年、青少年学習センターを1棟借り切ったお祭りを行っています。青少年学習センター自体のお祭りであるyフェスティバルも、お客さんだけでなく参加団体同士の交流の場になっています。このような活動は会館全体が会場であることに大きな意味があります(廊下でも賑やかにして良い、など)。本当は青少年学習センターは場所も離れているし、青少年の会館というところで複合化しないでほしいのですが、このような活動が複合化後も継続していけるよう、よろしくお願いします。		現在行っている事業等の実施については、いただいたご意見も参考に検討してまいります。	イ
175	複合設備整備計画の図書館事業 図書館と市民をつなぐために、図書館内に貸室も必要と考える。 [現在の案] (p.57) (3) 図書館 ア 貸室 8室 → 0室 [理由] ①ダンススタジオが8室以上もあるのに図書館は0室ではバランスを欠いている ②図書館の中に部屋があるからこそ、読書会や学習会の企画が生まれやすい ③読書バリアフリーのために、対面朗読室等はきちんと図書館の障害者サービス部門に位置づけられるべき		貸室や対面朗読室については、複合施設全体の中で整備し、効果的に活用することとしています。	ウ
176	複合設備整備計画の図書館事業 読書バリアフリーの実現のために、アクセシブル機能も必要と考える。 [現在の案] (p.34) (3) 図書館 開架サービス 一般図書等のエリア、子どもの本のエリア、ティーンズの エリア、読書、学習、調査・研究等のエリア [改善案] 読書バリアフリーのエリアの追加 [理由] ①障害者の側へ図書館側から場を提供しないと利用は無い ②図書館の中にエリアがあるからこそ、様々な資料があることやいろいろな貸出方法があることを知ることができる ③読書バリアフリーのために、対面朗読室等はきちんと図書館の障害者サービス部門に位置づけられるべき		読書バリアフリーについては、必要性を認識しており、いただいたご意見も参考に、取組を進めてまいります。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
177	複合設備整備計画の図書館事業 図書館利用拡大の実現のために、個人宅への配送も必要と考える。 〔現在の案〕（p.24）これまで資料提供に時間がかかっていた公民館等図書室への配送体制の強化を図るなど 〔改善案〕リソースの許す範囲で個人宅への配送を開始 〔理由〕 ①幼い育児世代は外出が困難なので、絵本の利用を容易にするため ②高齢者など外出が困難な市民のため図書館サービスを充実させるため		新たな図書館では、公民館等図書室への配送機能を強化してまいります。 なお、個人宅への配送については、現在でも有料郵送サービスを実施しているほか、大野北地区では、一人暮らしの高齢者等で図書館に来館できない方に対して、宅配サービスをボランティアの方の協力により実施しています。	イ
178	複合設備整備計画の図書館事業 基本計画拡大の実現のために、JAXAとの連携も必要と考える。 （理由）宇宙産業は将来の発展事業分野です。淵野辺南口エリアは幸い、JAXAがあり、利用者も多いです。JAXAと連携事業を図ることで、基本計画の拡大・発展が見込まれます。 （試案） JAXAの交流棟に「さがみはら文庫」という書棚があります。複合施設内で相互貸出制度を検討して頂けないでしょうか？		新たな図書館では、JAXAも含め、近隣の関係機関とも連携を図りながら、展示等の事業の実施に向けて取り組んでまいります。	イ
179	新たな拠点整備を行うという観点で基本計画(案)が提案されたとするならば、防災の視点を記述しないのは如何なものだろうか。様々な施設を複合化させるとあるならば、それらの施設機能を最大限考慮した防災拠点としての位置づけを明確化させることを打ち出す必要性が高いと考える。南海トラフ地震が30年以内に80%の確率で発生するという状況のなかで、今回の施設整備基本計画(案)には言及されていない。それでなくても避難所のキャパシティから利用できない地域の被災者や、一向に改善が遅々としか進んでいない避難所のクオリティを高めていくことも計画の中に組み込んでいく必要があると考える。鹿沼公園周辺は昔、沼地だったと聞いている。そのせいか、東日本大震災のときには中央図書館の開架式書棚から本が落下し、再開するまで多くの時間を要したと記憶している。これらのことから、複合施設整備計画を具体化する際には、十分な耐震化と震災発生時に市民に対し、避難生活が円滑に行われるよう十分機能する環境整備を整えて欲しいものである。		相模原市地域防災計画において、大野北まちづくりセンターは地区連合自主防災組織本部及び現地対策班、大野北公民館は風水害時避難場所として位置付けられています。複合化後も同様の機能を有する施設として整備してまいります。	イ
180	今回の基本計画拝見しました。私は鹿沼公園の周辺施設を1カ所にまとめた複合施設を作るイメージをしていましたが、矢部駅にある青少年センターが入っていて大変驚きました。 月に何回か利用するのですが一階のラウンジで子どもが集まって話したり勉強している姿を見かけます。 青少年センターがなくなって淵野辺駅の方に移ってしまうといま利用している子どもたちはおそらく行かないと思います。 近いから利用していると思うからです。子どもたちの居場所をなくさないでいただきたいです。 そして私も近くにあって良かったと思うような施設です。色々な意見があると思いますが検討して欲しいです。		青少年学習センターは、青少年の健全育成にもつながる様々な相乗効果が期待できることから、現在地から移転し、新たな複合施設として整備してまいります。	ウ
181	現在青少年センターにて全館貸切でフェスティバルを開催しております。市民が中心のものが開催される場、企画が増えることで市民の主体性が育ち 一人一人が自立しみんなで市を盛り上げていくという気持ちが市の繁栄につながると思います。 ぜひ、複合化施設になってもフェスティバルが開催できるような形をとっていただけると幸いです。		現在行っている事業等の実施については、いただいたご意見も参考に検討してまいります。	イ
182	和室ですが、小さい乳幼児の集まりには必須だと感じています。和室が減るのであれば簡易的な和室空間が作れるゴザやマットなどのアイテムの貸出があると部屋の利用の幅が広がると考えます。		和室については、現在の利用実態を踏まえ集約することとしていますが、児童館機能を拡充し、乳幼児を対象としたエリアを含め「子どものためのスペース」として、子どもの年齢や用途に応じた整備を行います。 貸室における備品等については、いただいた意見も参考に検討してまいります。	イ
183	利用人数が少ない集まりが多いとのことで小さい個室を増やすとの案ですが、①の貸切の際の需要に合わせてスペースを最大限に活用できるようにするため、大きい部屋を細かく仕切れるようにする形がいいのではと考えます。		少人数用の会議室を確保しつつ、利用人数に応じて複数の会議室の一体的な利用も可能とするよう整備してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
184	第3章 3. 1 (2) ア (ア) ユニバーサルデザインの理念は、バリアフリーと合わせて車の両輪の目指すべき方向であり、大変意義深いものです。実を伴うようにデザインしなければ、言葉だけに終わってしまうという課題があります。「誰もが」当事者意識を持ち高め深めていく実践と学びの積み重ねが大切です。そこで、まずは図書館を中心とする複合施設をインクルーシブなサービス・機能・設計にする必要があります。そのためにも、ユニバーサルデザインを望んでいる、図書館を本当は利用したいのに（図書館に行きたいけれど）行けない状態にある人、利用に困難のある住民の声に丁寧に寄り添い意見聴取して、ともにユニバーサルデザインの実現に参画していただくプロセスと仕組みづくりとして、次のことを提案します。例えば参入民間事業者と市・障害当事者を含む施設利用者・市民からなる「インクルーシブな図書館・複合施設のユニバーサルデザインを目指す関係者協議会（仮称）」のような協議体プラットフォームを設置し、対話の仕組みが急務と考えます。とかく市の障害者（児）にまつわる事項では福祉が中心的に担うこととの先入観が根強く、健康福祉局の一部を中心とする協議会等で、これまでも障害当事者の団体代表者から市の障害者プランなどへの意見は募って取り組まれてはありますが、超福祉な領域で多分野横断的な事項に際しては福祉局だけでは到底追いつかない課題ばかりです。特に図書館に関わる施策やサービスの個々具体的なプランを実現するにあたっての当事者参画は、本市にはまだまだ不足しており、設計段階からのユニバーサルデザインを探究することこそ、真のまちづくりプラン成功の鍵と考えます。具体的には①点字ブロックや複合施設出入口の位置を知らせる音サイン、スロープや誰でもトイレ等のバリアフリー設備（近隣交差点の音響式信号機の種類、トイレの男女・誰でもトイレの別を知らせる音声ガイド等含む）を、どの位置にどのような形状のものを敷設するかをニーズを把握すること、②図書館と関連の深い他部局所管の機関（視覚障害者情報センター・ソレイユ相模情報コーナーなど）、公民館やまちづくりセンターと関係の深い組織機関（地区社協、子育てサロンなど）の関係者と複合施設の利用者（障害当事者、外国人市民など）とが具体的なニーズを表明して市や事業者と話し合う場。こうした関係者協議会のような場、もしくは意見聴取の工夫を重ねることこそがプラン実現への近道と捉えて、なお一層取組まれることを切望します。と同時に、市域の広い本市のどこから来ても、誰もが来てよかったと思える図書館・複合施設づくりを目指す機運が醸成（じょうせい）されることが今こそ必要と考えます。		複合施設については、障害の有無、年齢、性別、国籍等にかかわらず、誰もが安全・安心に利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮した施設としてまいります。また、いただいたご意見も参考に、市民の方々のご意見を伺う場の確保について検討してまいります。	イ
185	19ページ エ これからを見据えて（ア）貸室の再編 「新たなニーズにも対応した仕様が部屋数に再編します。」の中の「ニーズ」を、より深く洞察し、潜在的ニーズを含め、より正確なニーズの捉え方が重要と考えます。潜在的ニーズとは、これまでなかなか意見や声が出しにくかったり、利用や来館をあきらめてしまっていた方々が必ずおられるのだとの前提に立った理解に基づき、その課題をしっかりと受け止められるかどうか、利用してきたものの、なかなか来館やサービス・諸室の利用に苦慮している方がいるのではないかととの視点に立って、真の意味で「誰もが」利用したいときにできるだけ滞在型で希望に近いカタチの利用がかなう諸室と貸室事業を目指して、設計・諸室設置を検討いただくことを念願します。		貸室については、現在の利用実態を踏まえつつ、潜在的なニーズについても配慮しながら検討してまいります。	イ
186	20ページ （ウ）中央図書館としての機能の充実 「専門的業務を担う中央図書館としての機能を充実します。」支持いたします。市内の学校図書館との連携や支援センターとしての機能を充実させ、読書や図書館の来館が困難な方も含め障害のある市民（児童含む）・外国にルーツのある市民や識字に困難がある方などとの共生社会の実現を後押しし、下支えするために、情報障害やコミュニケーション面に困難のある人々の人権を保障するためにも、情報アクセシビリティとより良い読書環境を充実させることで、専門的な人材や資源を投入し「読書バリアフリーセンター」と呼べう中央図書館を目指すことが極めて重要になっております。時代の要請ともなっており、私も市や各事業者の方々とともに、より良い読書バリアフリーのまち・相模原を探究して参りたいと考えます。		図書館については、中央図書館機能の確立・充実に向けた各取組を進め、本市図書館全体のサービス向上を図ってまいります。	イ
187	22ページ 3. 2 (1) ア 図書館サービス (ア) 中央図書館機能 支持いたします。2年前に策定された「まちづくりビジョン」22ページ 3. 2 (1) ア 図書館サービス (ア) 中央図書館機能に際してもコメントをお送りしましたが、各地の先進的な中央図書館や本市と同等規模（人口）の県立図書館の好事例や歩みに学びつつ、その際に何をポイントとして研修し学んでいく必要があるかを僭越ながら申し上げたいと存じます。特に先進図書館での専門的サービスの充実の側面から言えば、多文化サービスにしても障害者サービス（バリアフリーサービス、旧ハンディキャップサービス・個別支援）にしても、より良く展開されている館では、サービスを所管や担当ごと部局別に利用者をたらい回しにすることなく、一人ひとりの利用者市民に相談段階から親身になって寄り添い、ワンストップサービスを実現・実践している点に学ぶべき意義があると考えます。そうした寄り添いサポート・ワンストップ事例に深く学び、施策に取り組まれることを提案いたします。			イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
188	(ウ) 視聴覚ライブラリーの機能 視聴覚ライブラリーの事業で、次世代に継承されるべき部分を正式に図書館の視聴覚資料等の部門に位置付けられ、中央図書館と一体となって取り組む方針を支持いたします。今後、従来の視聴覚資料はもとより、2020年代以降の電子図書館化の取組や視聴覚資料のアーカイブ（電子資料化）を行う上で意義深い施策と捉えております。また、読書バリアフリー法に掲げられています、「アクセシブルな書籍」または「アクセシブルな電子書籍」といったバリアフリー図書資料の中には、デジタイズ図書やLLブック、オーディオブックなどの音声資料や字幕・手話入り等のビジュアルなデータも含め、視聴覚資料とも位置付けられる関連のある資料が多いのも事実です。これらアクセシブルなバリアフリー図書や視聴覚資料の充実を図っていく蔵書構築と、新たなバリアフリーサービスを展開し向上させていく上でも、視聴覚ライブラリーの事業は技術面・サービス融合の面で極めて価値あることです。よって、同ライブラリーの発展的な再編は、大いに中央図書館の「専門的機能」や「読書バリアフリーセンター機能」を高めることのできる価値と可能性を秘めており、今後の施策に期待いたします。以下、関連して後世に伝え残しておきたい史実を記させていただきます。全盲の私は、図書館の障害者サービスの一つ「対面朗読サービス」で、視聴覚ライブラリーの敷地の諸室（視聴覚室または相談室）を利用させていただいています。現在の市立と図書館側には対面朗読をはじめ音訳による“声による読書支援”を行うのに適した諸室がなく、同ライブラリー諸室を使用しております。2009年頃からライブラリーのスタジオを使用し（東日本大震災時に被害を免れたものの）、重い扉による閉じ込めや天井の照明器具の落下等の危険性が増したことによる災害時の危険性を考慮し、窓がなく暗室のため、スタジオは使用せず、2012年から現在の視聴覚室・相談室使用となり現在に至ります。私は利用者として同ライブラリースタッフの皆さまはじめ担当者には大変お世話になっており感謝申し上げます。現在の「視聴覚ライブラリー併設型」による課題や弊害を3点記します。 (1) 今回の複合施設の諸室（貸室）の検討に係る諸室の稼働率の把握に当たって、私ども対面朗読による視聴覚ライブラリー敷地の諸室使用の実働数を、図書館として把握しカウントされた上で図書館報や図書館協議会の事業評価を作成されたかどうか？非常に心配しております。「障害者サービスの一つとしての対面朗読サービス」の実働数をきちんとカウントいただいた上で、正確なデータに基づき館報等作成がなされてほしいというのが、利用者としても支援に携わった音訳者や委託スタッフ職員の切なる希望です。 (2) 50年以上前に設計された図書館という事情と、上述した図書館側の敷地に音訳等の支援に適したスペースがないために、いわばライブラリーへ“間借りして”図書館のサービスを展開していただいているわけですが、このことにより、正確な障害者サービスの事業評価がなされていないのではないかと懸念しております。図書館の正式な事業として行っているものであり、音訳ボランティアの方々とその団体の全面的なご協力により成り立っている対面朗読は、「バリアフリーサービス」の中核であり、利用している当事者にとってはなくてはならない営みであります。決して「単なる貸館サービス」などではありません。また、対面朗読含む障害者サービスの実働数がゼロという年は2009年以降全く存在しません。そうした職員スタッフの方々の本格的な理解がなくてはなりません。単なるサービスではなく、全ての方にとって有益な事業・サービスである読書バリアフリーのためのサービスであるとの理解に立つて施策に取り組んでいただくことが重要と考えます。 (3) 上記の理由から、視聴覚ライブラリーで行われてきた実態を踏まえ、今後ライブラリーと図書館の部門統合ののちも、これまで培ってきた対面朗読（対面音訳とも言われます）を含むすべての障害者サービスの積み重ねの上で、新たに市の全市的な「読書バリアフリー基本計画」を、次期第3期図書館基本計画等と合わせて策定いただくことを提案いたします。4年後の複合施設完成着工に間に合うよう準備し、令和11（2029）年の市立図書館会館55周年には着実に計画執行機関に入れるよう、検討をいただき、相互理解を深めつつ、より良い持続可能な障害者サービスの実現のためにも、市を挙げて取り組まれることが肝要と考えます。そのことにより、障害当事者はもちろん、障害をめぐる支援や研究に取り組む方々、共に生き共に歩んでくださっているすべての方のシビックプライドを高めることにつながることを強調いたします。		視聴覚ライブラリーの機能については、図書館機能と一体化した上で、適切に維持してまいります。また、対面朗読サービスについても、維持してまいります。なお、対面朗読室については、相談室と機能が類似することから、複合施設全体の中で整備し、効果的に活用することとしています。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
189	3-4 施設の想定規模及び性能イメージ(3) 図書館 「対面朗読室及び録音室の機能については、専用のスペースを設けるのではなく、複合施設の諸室を活用します。」34ページ ※別の箇所では相談室が2室設置が検討されており、この相談室にて優先的に対面朗読サービスを実施していただけるとの理解をいたしました。感謝申し上げます。相談室がプライバシー保護等が保障され、換気もできる明るなお部屋であることを期待いたします。そのうえで、相談室が対面朗読室と同等の位置付けで使用可能である旨を本プランで明記いただくことを、切望しております。具体的には、2室あるうちの1室を「対面相談室」と命名いただき、もう一つの相談室は「多目的相談室」のような名称で、機能を果たせる諸室としていただくと良いと考えます。どちらの相談室とも、あらゆる目的の利用希望者が重なった際のニーズ対応が柔軟に行えるよう、状況に応じた使用を可能にいただくと大変ありがたいです。それから、対面朗読では、返却期限が短期間と厳しい市外からの借用資料も多く、専門書も希望する利用者には、限られた日時の対面朗読の中で必要な資料を判読しなければならない重要な時間です。利用者自身と音訳者との予定をすり合わせて日程調整を行っており、音訳者の中には遠方からいらして下さっている方や高齢の方もおり、また音訳者は初見で音訳するため、読みの専門的技術を備えた音訳者でなくてはなかなか務まりません。そうした大変貴重な専門人材ですので、図書館でしっかりと手当てをし、対面利用者と図書館との総意に基づき、毎年専門人材である音訳者等に何らかの謝意を示す機会を大切にして参りたいと考えますが、いかがでしょうか？支援者を支援する図書館側の姿勢を、読書バリアフリー実現の観点から取り組んでいただくことを、一利用当事者の切なる思いとして、提案いたします。あわせて、障害者サービスをオーテピア高地図書館のように「バリアフリーサービス」と銘打って位置付けを強化し、サービスの広報の充実を今一度見直し、利用者や支援者とも協力して充実を図る必要があります。例えば市内図書館等の「新着図書案内」のバリアフリー資料化して発行したり、開架コーナーに「バリアフリー図書」を紹介閲覧できる「りんごの棚」的なスペースを設けるなど、今後の素晴らしい読書バリアフリーセンター機能を有する中央図書館の実現に向けて取り組まれることを見守り、共に微力を尽くしたいと考えます。		視聴覚ライブラリーの機能については、図書館機能と一体化した上で、適切に維持してまいります。また、対面朗読サービスについても、維持してまいります。なお、対面朗読室については、相談室と機能が類似することから、複合施設全体の中で整備し、効果的に活用することとしています。	イ
190	【図書館について】 ・書籍やDVD、CDが古いものが多かったので、橋本の図書館のように新しい書籍、DVD、CDを充実させてください。子供が中学校の宿題で調べ物をする際に新しい統計の情報も欲しいです。 ・漫画も借りたりするのですが、他市の話を知ると、漫画も予約できるとのことです。漫画についても予約ができませんでしょうか。橋本や相模大野など市内の他の図書館にのみあるものについて、その本がそこに返却された場面に遭遇しない限り、読むことができないと思いますが、いかがでしょうか。 ・読書できる空間を増やしていただきたい。		図書館の資料やサービス等の充実については、いただいたご意見も参考に検討してまいります。また、読書できる空間については、拡充してまいります。	イ
191	【複合施設全般について】 ・建物は、都心にあるようなガラス張りの殺風景なものでなく、雑誌で取り上げられるような図書館とまではいなくても、公園と調和した色調を使用して、複合施設と公園と、単体でなく、大きい範囲で街のデザインと捉えた設計にして、五十年、百年経ってもいいと思われるような建築物にしてください。 - 若手の建築家から設計を公募してみるのはいかがでしょうか。資金のこともあるので、建物の設計案が決まった時に、資金が足りない場合は、一部をクラウドファンディングで集めるといったことは実施できないでしょうか。 ・複合施設の1階部分の公園に面した場所を鹿沼公園の祭りのときに開放して、その場所で演奏会や講演会などのイベントをおこない、上の階でも喫茶やダンス、教室の発表会を行えば貸室の利用も増えると思います。 多目的ホールは保育園や幼稚園等の発表会や卒業式ができるようにしてください。(橋本のホールは行ったことはないのですが、幼稚園の発表会で利用されているとお友達から聞きました) 相模原市のPRとして、複合施設の人の目に留まるような場所や図書館の一角などに、JAXAや宇宙飛行士、宇宙に関する書籍、グッズ、食べ物やパネルを常設展示コーナーを設ける。		複合施設の整備に当たっては、周辺の住環境や景観に配慮するとともに、鹿沼公園とのつながりを大切にまいります。 複合施設の利用ルール等については、いただいたご意見も参考に検討してまいります。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
192	「機能」という表現について 今回提示されたまちづくりのプランについて、これまでの市民検討会や学習会、説明会などでの意見が反映されたもので、全体的な内容には賛同しています。しかしながら、表現に関して一部見直しをお願いしたいと考えております。 市民検討会という場を設け、多くの時間と労力をかけて市民と対話を重ねてきた中で、各施設が持つ役割や意義について「機能」という言葉以上に、その場所に対する愛着や思いが語られていたと思います。「機能」という言葉にどうしても違和感を感じてしまいます。これまでの協働の過程の中で共有された「想い」や「温度感」を計画に反映させられると、関わったものとしてうれしいです。 特に市役所の出張所としての「まちづくりセンター」が機能と表現されることには抵抗はありませんが、「公民館」「図書館」「児童館」「青少年学習センター」「国際交流ラウンジ」「公園」は、地域住民が出会い、学び合い、つどい、触れ合うなどの大切な場所について、「機能」という表現では、その本質的な価値を十分に伝えることができないように感じます。これらの施設が果たす「役割」や「意義」、「場」を適切に表現することで、計画により深みと共感を与えることができるのではないのでしょうか。 プランの構成的に「機能」という言葉を使うほうが表現しやすいのかと思うところもあるのかとも思いますが、提案として、「機能」ではなく、「より具体的で温かみのある表現を検討していただければ幸いです。このプランが、市民の声と想いを反映したものとして完成することを願っています。		複合施設では、利用者同士がゆるやかにつながり、新たな学び・活動や交流が生まれるなど、温かみのある施設となるよう、いただいたご意見も踏まえ取組を進めてまいります。	イ
193	鹿沼公園、図書館の現状維持、移転反対 理由は鹿沼公園の良さを残すべき、子供が楽しめる大型公園を図書館を移転させて縮小すべきでは無い、市内都心部に近い公園のみどりを残して欲しい 図書館の老朽化は確かにあるが、その土地を民間に売却して、必要以上のインフラ整備は不要かとはいまのままで良いです。そこまで財政が困窮していますか？マンションやショッピングセンターが必要ですか？相模原の身の丈にあった街づくりを考えるなら、ゆったりとした部分を残して欲しい		まちづくりプラン（案）では、老朽化した公共施設の課題を解決するとともに、鹿沼公園内に複合施設を設置することに伴うオープンスペースの減少など、公園への影響を抑えるよう計画しています。	ウ
194	青少年学習センター機能 ホールの機能について、照明の電球が家庭用の電球なども使用しているため、球切れが頻繁です。新しい施設では、ぜひLED にしてほしいと思います。 現在のPA卓はとても古いの、新しいものになるのかと思いますが、利用者が自分たちで操作できるということが大前提なので、あまり複雑な機能があるものでなくても良いと思います。 演劇やコンサートができるような会場は、たいてい本番中は非常灯を消しても良いようにできています。新しいホールも、上演中は手動で消灯できるようにしてほしいです。 現在のホールは、舞台袖の楽屋が非常に狭く、出番の待機場所にしかないの、隣り合わせのお部屋で着替えやメイクなどの準備をしていますが、ホールへ入るのにどうしても外に出ないとならず、開場時間直前だとお客様と顔を合わせるのになってしまいます。舞台袖の楽屋を広く取ってもらうか、隣り合わせのお部屋とセットにして、裏から舞台へ入れる様な設計になるといいと思います。 全体の設計がまとまってから、一度市民へ図面などで公開し、意見を募集する場を再度設けて欲しいです。		多目的ホールの詳細な仕様については、いただいたご意見も参考に検討してまいります。また、いただいたご意見を参考に、市民の方々のご意見を伺う場の確保について、検討してまいります。	ウ
195	(2) 市民利用スペース 「イ 貸室」の事業の「多目的室」について 青少年学習センターと公民館では、市民による演奏会はもちろん、プロによる演奏会や演劇鑑賞会も盛んに開催されてきました。多目的ホールが、“市民が気軽に発表できる”と共に、“誰でも気軽に本物の芸術に出会える場”として整備されるべきだと考えます。太鼓やピアノ演奏、演劇コンクール、雅楽など幅広い文化を市民が豊かに享受できるように、音響・舞台・客席をプロの視点で設計することが必要と考えます。また、廃止される南市民ホールの代替施設としても、グリーンホールの多目的室では不十分なので、複合化施設に利用実態を反映し、小中規模ホールとして利用できるように考えるべきではないでしょうか。		多目的ホールについては、利用者が自ら操作できる照明及び音響設備等を備え、市民が気軽に発表できるというコンセプトのもと整備を行ってまいります。	ウ
196	(7) その他の機能 「利用者の利便性の向上を図る」ための「民間事業者からの提案によるカフェの導入」は必要ないと考えます。複合化により確実に敷地面積が狭くなる中で、これまでの市民による文化活動が縮小されるような作りにならないように考えることが必要です。より活発な市民の交流の場となしてほしいので、カフェよりも市民による市民のためのスペース確保が優先です。また、“誰でも気軽に”というコンセプトとしても、大人がお金を使うことで潤う場よりも、児童・青少年の居場所となるスペースの確保のほうが優先的であると考えます。		児童・青少年の居場所については、青少年学習センター機能と児童館機能の連携を図りながら確保してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
197	(5) 児童館機能について 「親子で気兼ねなく過ごせることができるように」を実現するためには、まずは細かいルールは必要ないと考えます。一方的なルールや看板の多い子どもセンターや児童館には、子どもは寄り付きません。特別な遊具やおもちゃは必要ないので、0歳児が安全にハイハイで歩き回れる屋内スペースや子育て世代がのびのびと交流できるスペース、子どもたち自身が自発的な活動ができるようなコミュニティスペースやが必要だと考えます。 また、子ども主体の委員会を発足して、ルール作りやイベントを開催するとよいと思います。それを見守る専任のスタッフが常駐すべきです。		いただいたご意見も参考に、市民が運営に関わることができる仕組みを検討してまいります。	ウ
198	(4) 青少年学習センター 「子どもの若者の居場所」を実現するためには、ゴロゴロと寝転んだり、集まって座ったり、食べたり飲んだり、好きなことを好きなだけできる時間と空間が必要です。青少年学習センターには現在、小中高生が放課後に集い、遊んだり勉強をする姿が見られます。大学生や社会人の青年には、無料で活動できるスペースも必要です。地域の子どもたちと青年が、気兼ねなく安心していられる場所とあたたかく見守るスタッフが必要不可欠です。		子どもと若者の居場所については、児童館機能と特に連携を図りながら確保してまいります。また、誰もがゆっくり過ごせるスペースとして、フリースペースも整備してまいります。	ウ
199	フリースペース（飲食可）、広場の一部屋根付き うれしい、とても期待している。机や席が移動できたり、B-l a bにあるようなキャスター付きで畳面（寝転がれる）と、中高生がとても居心地が良くなると思う。		市民が気軽に利用できる場所を目指し、整備してまいります。	イ
200	和室 26人では狭い。50人規模でないとこれまでの活動ができない。		和室については、利用実態を踏まえ必要な規模を算定しています。貸室における備品等については、いただいた意見も参考に検討してまいります。	ウ
201	太鼓の演奏は引き続きできるのか。		これまで行ってきた様々な活動が引き続き行えるよう、利用ルール等を含め検討してまいります。	イ
202	利用料 青少年団体の無料の継続。そして、高校生は子どもなので、施設利用料の減免対象に入れるべきだと考える。		貸室の利用料金については、現在の利用ルール等を踏まえて、いただいたご意見も参考に検討してまいります。	イ
203	ぜひアイスホッケー場などスケートリンクを含めた複合施設を希望します さまざまなスポーツを実施できる公園施設がどんどん減っていくのは子供にとって望ましくありません。 子供の可能性を広げるため銀河に代わる施設の建て替えを希望します。	5	複合施設内にスケートリンクの機能を設けることは、位置付けておりません。 なお、民間アイススケート場の設置・運営については、必要な敷地が確保できる場所の条件整理や民間事業者へのヒアリングなど、実現可能性についての調査を令和6年度に実施したことから、これに基づき市の対応方針を検討してまいります。	ウ
④ 第4章 鹿沼公園及び複合施設の管理・運営方針に関すること				
204	複合施設の管理について 民営化の活用をできるだけ図るとともに、行政の機能統合等を進めて欲しい。子供の利用について、安心安全の確立し、子育て事業の増大を図って欲しい（子供食堂、子供塾等）。		複合施設の管理・運営については、民間活力を導入することで、より効率的な施設の管理、効果的なサービスの提供の実現を目指してまいります。 また、子どもたちも含め、誰もが安全・安心に利用できる施設とすると共に、様々な事業が展開できるよう、取り組みを進めてまいります。	イ
205	4-1 4-2管理運営 ・民間活力の導入に関して相模原市の社会教育をはじめとした基本的な考え方をキチンと伝えて、長年にわたって作り続けてきた先人たちの思いや努力を確実に押さえていく土台で進めていって欲しいです。基本的な考え方が芯としてあれば、社会の動きに敏感に対応していいと思います。 ・市が直接実施するべきものは引き続き直営にする事と、大事なことである貸室の管理・運営がうまく連動していくのが、不安です。これからも、市民・住民の声を聞いてください。		市と民間事業者が一体となって管理・運営を行ってまいります。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
⑤ 第5章 事業スキームに関すること				
206	事業手法及び事業期間 DBO方式を採用すると建通新聞に出ていた。確かにPFIより良さそうだが、期間はせいぜい10年が適当ではないかと思う。15年以上の場合、問題が出た時に契約を途中で破棄せざるを得なくなると厄介。市民にとっては短い方がリスクが少ないように思う。		事業手法及び事業期間につきましては、事業者選定に向けたアドバイザー業務において、リスクも含め様々な観点から更なる検証を行った上で決定してまいります。	イ
⑥ 第6章 今後整理・検討すべき事項等に関すること				
207	駅前商業施設 駅前に買物できる便利な商業施設作って欲しい（橋本駅、相模原駅のように）。どこのスーパーも非常に遠いため困っています（コンビニはあるが）。		駅前市有地の有効活用については、民間活力の活用を前提に、今後、地域の活性化に向けたまちづくりの取組として、淵野辺駅南口に相応しい適切な土地利用が図られるよう、まちづくりプラン（案）でお示しした「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」の策定に取り組む中で検討してまいります。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
208	淵野辺駅は、町田など予算的に住むのが難しいファミリー層や学生が多くいると思います。もちろんお年寄りの方も大切ですがこれからを担う若い方達が住みやすく、ずっと住んでいたいと思える街づくりをした方が良いと思いました。 町田や橋本まで行かなくても淵野辺駅でコンパクトなスペースでも良いので、だいたい揃ってしまうのが理想です。		本事業は、リニューアル後の鹿沼公園と新たな複合施設をまちづくりの起点とし、民間活力等を生かした新たな価値を創造し、利便性が高くにぎわいのあるコンパクトなまちを目指しており、ご意見の若者世代にも「住みやすいまち」の実現を図ることは、重要なことと認識しています。 いただいたご意見を踏まえ、今後の取組について検討してまいります。	イ
209	学生向けの飲食店や服屋などの充実。（学生が駅付近に溢れています）		駅前市有地の有効活用については、民間活力の活用を前提に、今後、地域の活性化に向けたまちづくりの取組として、淵野辺駅南口に相応しい適切な土地利用が図られるよう、まちづくりプラン（案）でお示しした「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」の策定に取り組む中で検討してまいります。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
210	子供食堂開設や塾・習い事に通うのが困難なお子様への学習スペースとお年寄りの方向けの複合スペース施設。お互いが目を配り支え合える場所に設置			ウ
211	公園までの道のりで、ミニ商店街の様な場所があると老若男女喜ばれると思います。商店街でコロケやソフトクリーム、焼き鳥などを買って公園に行く。鹿沼公園に施設が移動した時に、職員の方達も立ち寄りコミュニケーションも取れます。		本事業における第2ステップの取組として、駅前市有地の有効活用とともに、淵野辺駅南口から鹿沼公園にかけて、居心地が良く歩きたくなる空間の確保など、回遊性とにぎわいのあるまちなかの空間形成を図ることとしています。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
212	とても小さな意見ですが、物価高がこれから進んでいく事を考えるとトヨタの街づくりではないですが、コンパクトに全てが揃うという事がとても良いと思います。淵野辺駅は病院は充実しているのでその他の検討をして欲しいと思います。学習スペースでは、近隣の大学生などがアルバイトをして勉強を教えてくれる。小さなお子さんはお年寄りの方が見守ってくれる。商店街の方が学校帰りのお子様を見守ってくれる。など支え合える街づくりが必要だと思います。		淵野辺駅周辺は、図書館、公民館、公園などの公共施設が集積しているとともに、大学などの文教施設が多く立地しているなど、文化の薫り高い地域です。 ご意見の「コンパクトなまちづくり」や子育てにやさしい「支え合える街づくり」については、まちづくりプラン（案）にもお示ししている「住みやすいまち」を目指していく上で、重要なことと認識しています。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
213	駅前の有効活用 クルマ多用地域なので、送迎では駅前までアクセスしたくなるが、大規模駐車場から駅までの移動が簡単な仕組みを考えられないか？		駅前市有地の有効活用については、民間活力の活用を前提に、今後、地域の活性化に向けたまちづくりの取組として、淵野辺駅南口に相応しい適切な土地利用が図られるよう、まちづくりプラン（案）でお示した「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」の策定に取り組む中で検討してまいります。 ご意見の「大規模駐車場から駅までの簡単な移動の仕組み」について、現時点ではそうした検討を行っていませんが、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
214	駅前の有効活用 北口と南口の移動がより簡単で早くなる方法が欲しい。		本事業における第2ステップの取組については、まちづくりプラン（案）において、「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」の検討・策定に当たり、「検討の中心となる駅前市有地等」の範囲をお示ししており、民間活力の活用を前提に、駅前市有地の有効活用（売却・貸付け等）の取組を中心に検討を進め、事業推進のための財源確保を図ることとしています。これに基づき、当該有効活用の取組と連携した、一体感のある淵野辺駅南口周辺に相応しい空間の創出に向け、市として実効性のある実現可能な取組を実施してまいりたいと考えています。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
215	駅前の有効活用 3)タクシー乗り場、自家用駐車場、までは雨に濡れないで移動したい。（少し離れていても）		まちづくりプラン（案）でお示した、「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」では、駅前市有地の有効活用及び駅前広場を含む周辺インフラ等の課題解決に向けた一体的なまちづくりを進める計画として策定することとしています。 今後、駅前広場を含む周辺インフラ等の現状と課題を整理の上、必要な取組について検討してまいりたいと考えています。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
216	駅前有効活用 5)ショッピングセンターを核にして、駅、タクシー、駐車場、などの移動インフラを等距離で配置するデザインを考えて。地元商店はその内部、外周に配置すれば、地域活性化になるのでは。		市都市計画マスタープランでは、淵野辺駅周辺を「地域拠点」として位置付け、利便性の高い日常生活を営むための商業・サービスなどの都市機能を維持・誘導し、地域と一体となった拠点を形成することとしています。 市といたしましては、こうした基本的な方針のもと、淵野辺駅南口周辺における「地域活性化」に向けたまちづくりの取組を進めることが重要と認識しています。 駅前市有地の有効活用については、民間活力の活用を前提に、今後、地域の活性化に向けたまちづくりの取組として、淵野辺駅南口に相応しい適切な土地利用が図られるよう、まちづくりプラン（案）でお示した「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」の策定に取り組む中で検討してまいります。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
217	生活デザイン中心の淵野辺駅 1)夜間は落ち着く街路灯、昼間は青空が広く見える電線、電柱の地中化。→女性、子供が安全に歩ける街		駅前広場等の「駅前空間」に関するご指摘の件については、過去、市民検討会においても貴重なご意見をいただいております。良好な景観形成や誰もが安全・安心に歩けるまちづくりを進めていくことは、重要なことと認識しています。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
218	生活デザイン中心の淵野辺駅 2)住宅街へも税負担を減らす方法(ふるさと納税)で個人負担で同様の統一デザインを波及する。		まちづくりプラン（案）でお示したイメージ図のとおり、淵野辺駅南口から鹿沼公園までの通りを中心に、良好な景観形成による魅力的な空間づくりなど、「淵野辺駅南口周辺に相応しい空間創出の検討」に向け、取り組んでまいります。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
219	生活デザイン中心の淵野辺駅 3)駅で使用する色を3色までに規定化して、オシャレな街づくり。→学と住の落ち着く街作り。		駅前広場等の「駅前空間」に関するご意見については、過去、市民検討会においても貴重なご意見をいただいております。「景観」を重視したまちづくりを進めていくことは、重要なことと認識しています。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
220	生活デザイン中心の淵野辺駅 4)横浜線跨線橋や駅周辺の信号制御をスムーズにして、線路、駅周辺にクルマの滞留を減らす。		快適に安全で安心して移動できる交通環境を整備していくことは、重要なことと認識しています。 本事業の推進に当たっては、事業の進捗状況に応じて、所管する警察署に相談等を行うなど、必要な対応を検討してまいりたいと考えています。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
221	保育、学童設備 1)駅前、商業、保育、学童、設備を集約して、児童の安全を集中管理。 2)親が迎えに行くクルマのアクセスも安全で簡単に。 3)親の通勤がクルマ、バス、鉄道、のどれでも便利な保育、学童施設を核とした街づくり		駅前市有地の有効活用については、民間活力の活用を前提に、今後、地域の活性化に向けたまちづくりの取組として、淵野辺駅南口に相応しい適切な土地利用が図られるよう、まちづくりプラン（案）でお示した「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」の策定に取り組む中で検討してまいります。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
222	将来的な駅周辺の再開発などをＪＲ東日本とも協議を開始し、公園の抜本的な構造設計も欠かせない。		本事業における第２ステップの取組については、まちづくりプラン（案）において、「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」の検討・策定に当たり、「検討の中心となる駅前市有地等」の範囲をお示しており、民間活力の活用を前提に、駅前市有地の有効活用（売却・貸付け等）の取組を中心に検討を進め、事業推進のための財源確保を図ることとしています。これに基づき、当該有効活用の取組と連携した、一体感のある淵野辺駅南口周辺に相応しい空間の創出に向け、関係機関等との調整を図りながら、市として実効性のある実現可能な取組を実施してまいりたいと考えています。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
223	相模原は、北の橋本～八王子、南の相模大野～町田、に分断されてるようです。 淵野辺駅南口、鹿沼複合施設も大事ですがもっと大きな視点で考えてほしい。 私の考えはいつまでもこない小田急を横目に、鶴川から上溝駅までの57号線添いにモノレールを通せたら、と考えています。そのために横浜線は上部に道路を、淵野辺駅南口からロータリーおよび交差点上部を乗り越える高架歩道広場（屋根付きだとさらにいい）から気が付いたら鹿沼公園となればいいなと思います。		本事業における第２ステップの取組については、まちづくりプラン（案）において、「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」の検討・策定に当たり、「検討の中心となる駅前市有地等」の範囲をお示しており、民間活力の活用を前提に、駅前市有地の有効活用（売却・貸付け等）の取組を中心に検討を進め、事業推進のための財源確保を図ることとしています。これに基づき、当該有効活用の取組と連携した、一体感のある淵野辺駅南口周辺に相応しい空間の創出に向け、市として実効性のある実現可能な取組を実施してまいりたいと考えています。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
224	公園整備計画 駅からウエルカムゲートまでの「スムーズな誘導」を考えると、改札階から直結したペDESTリアンデッキを作るのが望ましいと思います。歩車分離も出来て安全面でも優位ではないでしょうか。 また、全体的に車椅子による移動を主体とする想定で、設計して貰いたいです。 ウエルカムゲートの脇に駐車場を計画しているようですが、公園を利用する人のワクワク感を阻害しないよう、歩行者からは見えない設計にした方が良くと思います。		本事業における第２ステップの取組として、駅前市有地の有効活用とともに、淵野辺駅南口から鹿沼公園にかけて、居心地が良く歩きたくなる空間の確保など、回遊性にぎわいのあるまちなかの空間形成を図ることとしています。 また、まちづくりプラン（案）では、「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」の検討・策定に当たり、「検討の中心となる駅前市有地等」の範囲をお示しており、民間活力の活用を前提に、駅前市有地の有効活用（売却・貸付け等）の取組を中心に検討を進め、事業推進のための財源確保を図ることとしています。これに基づき、当該有効活用の取組と連携した、一体感のある淵野辺駅南口周辺に相応しい空間の創出に向け、市として実効性のある実現可能な取組を実施してまいりたいと考えています。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
225	また、公園内の再配置だけでは、淵野辺駅から公園が分離された現在の状況と変わりません。 駅前ロータリーを相模原駅、相模大野駅のようにデッキ化し、メインの人の流れを二階部分とし、そこから鹿沼公園内の「総合複合施設」に連結する屋根付きのデッキを伸ばすべきと思います。 現在のように、駅からエスカレーターまたは階段を利用して地上に降り、バスロータリーを迂回するような経路でたどり、短いながらも横断歩道でタクシー用の車道を渡り、交差点で信号待ちをし、更に狭い歩道を進むような動線では、公園がいくら魅力的に変化しても、「行ってみたい」という気持ちは大きくなりません。 この屋根付き直通デッキでの淵野辺駅との直結無しでは、鹿沼公園を中心とする淵野辺駅南口の再開発、活性化は成功しないと思います。		本事業における第2ステップの取組については、まちづくりプラン（案）において、「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」の検討・策定に当たり、「検討の中心となる駅前市有地等」の範囲をお示ししており、民間活力の活用を前提に、駅前市有地の有効活用（売却・貸付け等）の取組を中心に検討を進め、事業推進のための財源確保を図ることとしています。これに基づき、当該有効活用の取組と連携した、一体感のある淵野辺駅南口周辺に相応しい空間の創出に向け、市として実効性のある実現可能な取組を実施してまいりたいと考えています。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
226	多層化した駅前ロータリーの地上部分であれば現在のような自転車、オートバイ置場の存続もよいのではないかと思います。 現在の駅前の駅直近の一等地に、自転車、オートバイ置場が配されていることには疑問を感じています。 駅前デッキが出来ない場合は、現在の公民会周辺まで遠ざけるべきと思います。		自転車駐車場の再整備に当たっては、歩行者や自転車利用者の通行状況等を踏まえながら、施設の配置等について、検討してまいります。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
227	駅前広場について 駅前広場開発について、地区まちづくり会議等と早期の検討委員会の設置を行い複合施設の建設 同時に進め、計画の検討を図る。特に周辺道路計画と安全対策。駅前にどのような業種を誘致するのか？ JRとの共同開発等の検討。※駐車場、駐輪場、バスターミナル、橋上通路、歩道、デッキ等		本事業における第2ステップの取組については、まちづくりプラン（案）において、「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」の検討・策定に当たり、「検討の中心となる駅前市有地等」の範囲をお示ししており、民間活力の活用を前提に、駅前市有地の有効活用（売却・貸付け等）の取組を中心に検討を進め、事業推進のための財源確保を図ることとしています。これに基づき、当該有効活用の取組と連携した、一体感のある淵野辺駅南口周辺に相応しい空間の創出に向け、関係機関等との調整を図りながら、市として実効性のある実現可能な取組を実施してまいりたいと考えています。 また、基本計画策定に当たっては、これまでと同様、市民や民間事業者等と対話の機会をつくりながら、検討を進めていきます。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
228	淵野辺駅前からの道路、駐輪場、駐車場の件 地域をこえて広く皆が集まって来られることを考え、道や地下駐車場も広くして防災のためにも必要と思う。		まちづくりプラン（案）でお示した、「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」では、駅前市有地の有効活用及び駅前広場を含む周辺インフラ等の課題解決に向けた一体的なまちづくりを進める計画として策定することとしています。 今後、駅前広場を含む周辺インフラ等の現状と課題を整理の上、必要な取組について検討してまいりたいと考えています。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
229	P48 P50 相模原市民のまちづくりに当たり分煙環境整備をご配慮いただき有難うございます。 淵野辺駅周辺に相応しい空間創出の検討の中に「分煙環境施設」を加えて検討頂きたい。 「吸わない人も（八割）、吸う人も、分煙環境」 吸わない人を分煙環境から守り、住みやすいほっとするまち を創ります。 全体を通して分煙環境整備について検討頂きたい。現在駅南口に「分煙施設」が存在します。		淵野辺駅南口の駅前広場等は、相模原市路上喫煙の防止に関する条例に基づき「路上喫煙禁止地区」として指定しており、指定喫煙場所内での喫煙をお願いしています。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
230	P.5 まちづくりビジョン 平成29年の原案と比較するとかなり改善いただいたと感じました。第2ステップでは、敷地売却ではなく、今後の建て替え用地としても、ぜひ市有地のままでの活用をお願いしたいです。		駅前市有地の有効活用については、今後、民間活力の活用を前提に、売却・貸付け等の取組による財源確保を図りながら、地域の活性化に向けたまちづくりの取組として、淵野辺駅南口に相応しい適切な土地利用が図られるよう、まちづくりプラン（案）でお示しした「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」の策定に取り組む中で検討してまいります。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
231	北公民館、駐輪場 用地売却反対 オカネのことについて。 淵野辺駅北口に桜美林大学の施設があります。駅のホームからよく見えます。学校施設だから、一般市民の立ち入りは制限されているのだろうか？ もとは旧国鉄用地だったものが、大学の施設になった。 学校法人はお金があるようだ。そして固定資産税が非課税と思われる。市に対しメリットが薄いと思われます。 駅前の土地は、便利なので価格が高く、一般に売却してもマンションが建つだけだろう。 そう、これ以上マンションはいらない。 駅南口の児童館の庭には、大きなシイの木があった。秋になると実をたくさん落とした。 私と知人は、時々拾って食べました。ジャマと思われたのか。代採されてしまった。 シイの木は太かったから、樹齢百年は超えていたと思う。おそらく調査もしないで切り倒してしまったのだろう。年輪ぐらい数えるべきだと思います。 南口交番のそばに大きなコナラがあったけど枯れてしまい伐採しました。その後に同じコナラの木を植えるべきです。 駐輪場は駅近なので、利用者には便利だと思います。 そのためか、歩道を自転車で走る人が多くいます。北公民館の跡地を駐輪場にして駅前の歩道から危険な自転連走行をなくすべきと考えます。駐輪場の跡は広場として空間利用がよいと考えます。 相模原市が人口50万人を超えたのは昭和の最後だった気がする。 その時、住民税の均等割が500円上がったはずです。50万人突破のことは広報にでていたけど、均等割のことは載っていません。 政令指定都市の中で、市民病院、市営交通、市立高校大学、美術館のないのは相模原だけではないだろうか？調べたわけではないが、財政的には、有利ではないか？そう思う。 町田市は市民病院、美術館、文学館がある。エライ！		本事業における第2ステップの取組については、まちづくりプラン（案）でお示ししたとおり、民間活力の活用を前提に、駅前市有地の有効活用（売却・貸付け等）の取組を中心に検討を進め、事業推進のための財源確保を図ることとしています。これに基づき、当該有効活用の取組と連携した、一体感のある淵野辺駅南口周辺に相応しい空間の創出に向け、市として実効性のある実現可能な取組を実施してまいりたいと考えています。 また、自転車駐車場の再整備に当たっては、歩行者や自転車利用者の通行状況等を踏まえながら、施設の配置等について、検討してまいります。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
232	施設の跡地利用 民間に売却すると元に戻せません。万一の災害時に避難場所を考える時、便利な場所であるならば、売却せず、有効活用を考えてみてください。		駅前市有地の有効活用については、今後、民間活力の活用を前提に、売却・貸付け等の取組による財源確保を図りながら、地域の活性化に向けたまちづくりの取組として、淵野辺駅南口に相応しい適切な土地利用が図られるよう、まちづくりプラン（案）でお示しした「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」の策定に取り組む中で検討してまいります。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
233	公園整備計画 銀河アリーナの閉鎖に伴い、市内外のスケート環境が大きく損なわれることが懸念されます。銀河アリーナは、市民の健康増進やスポーツ振興に貢献し、オリンピックも輩出するなど、重要な役割を担ってきました。そのため、淵野辺駅南口周辺まちづくりプランにおける跡地活用や市有地の有効活用の際に、新たなスケートリンクの整備をご検討いただきたく、ここに要望いたします。 スケートリンクは、世代を問わず楽しめる健康増進施設として、市内学校や地域クラブとも連携し、「地域に根ざしたスポーツ振興」の場として活用できます。また、駅近の立地を活かし、近隣市外や県外からの集客も期待でき、鹿沼公園のにぎわい創出にも寄与します。加えて、民間事業者との連携やネーミングライツ、クラウドファンディングなど、市民参加型の資金調達も可能です。 さらに、鹿沼公園リニューアル計画とも親和性が高く、「集う、動く、遊ぶ、学ぶ、憩う」のコンセプトに合致した多世代健康スポーツゾーンの核として整備できるほか、様々なイベントを開催できる柔軟な施設とすることで、公園全体の魅力を高めることも可能です。 スポーツ振興、健康増進、にぎわい創出、防災機能強化を一体的に担う次世代型施設として、銀河アリーナの役割を引き継ぎながら、淵野辺駅南口周辺の新たな地域拠点となることを期待します。 弊方の記憶に刻まれた貴重な施設である銀河アリーナの灯を消さずに、未来に向けたまちづくりの一環として、ぜひ積極的にご検討いただきますよう強く要望いたします。	3	駅前市有地の有効活用については、今後、民間活力の活用を前提に、売却・貸付け等の取組による財源確保を図りながら、地域の活性化に向けたまちづくりの取組として、淵野辺駅南口に相応しい適切な土地利用が図られるよう、まちづくりプラン（案）でお示した「（仮称）駅前市有地活用等基本計画」の策定に取り組む中で検討してまいります。 なお、民間アイススケート場の設置・運営については、必要な敷地が確保できる場所の条件整理や民間事業者へのヒアリングなど、実現可能性についての調査を令和6年度に実施したことから、これに基づき市の対応方針を検討してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
⑦ その他				
234	相模原市が掲げる「相模原市スポーツ推進計画」および「さがみはら子ども応援プラン」の実現のため、淵野辺駅周辺に市民が利用しやすい体育館の整備を提案いたします。 相模原市は「相模原市スポーツ推進計画」において、市民が生涯にわたリスポーツに関わることができる環境づくりを目指しています。しかし、現状では駅から徒歩でアクセス可能な体育館が少なく、市民が日常的にスポーツを楽しむ環境が十分とは言えません。また、「さがみはら子ども応援プラン」では、子どもたちが夢や希望を持って成長できる環境の整備が謳われています。体育館は子どもたちがスポーツや文化活動を学ぶ場として重要であり、地域の子どもの健全な育成に寄与します。さらに、既存のけやき体育館は老朽化が進んでおり、今後の活用方法が課題となっています。このため、淵野辺駅周辺に新たな体育館を整備することは、市民の健康増進や子どもたちの健全育成、そして地域の活性化に大きく貢献すると考えます。		本市では、多くの公共施設の老朽化が進み、今後、一斉に改修・更新時期を迎えますが、人口減少や少子高齢化等が進む中において、今ある全ての施設を維持することが困難な状況になることが想定されます。このため、公共施設マネジメントの取組である本事業の実施に当たっては、将来にわたり持続可能で真に必要な公共サービスを提供するため、集約・複合化による施設の機能や規模の見直し等の取組を進めているところです。 いただいたご意見は、今後の取組の検討に当たって、参考とさせていただきます。	ウ
235	市民検討会当時の都市計画課、公園課、生涯学習課の皆様は、共感を持って委員の意見を聞き、それまでの私達の「市は話を聞かない!」という思いを払拭してくれました。 今回の案の担当は政策課とのことですが、行財政改革で謳った「職員の意識改革：行政に携わる市職員が、市民の思いや痛みを受け止める」ことが引き継がれていることを期待します。		これまで市民検討会やまちづくり会議をはじめ、多くの市民の皆様から貴重なご意見をいただいております。こうした意見聴取の機会は、大変重要なことであると認識しており、今後も事業の進捗状況に応じて、様々な機会を確保してまいります。	イ
236	政策課の前身として平成時代には企画調整課が本市の行政を把握し、今後のありようについて担当課と議論し、市の総合計画を策定していました。 現在、組織改編により政策課となっていますが、私が知りうる限り、貴課は、本市の行政を先導する意識が薄く、組織としての統治ができなく、新しい施策や事業の関与をせず、本市の致命傷となるA & Aの事業を再開しました。公共交通の整備されていないこの事業地には、何らの希望はありません。 相模原駅北口の整備についても、明らかです。私は20年前の北口が返還された際に、多目的ドームスタジアムの提案を行いました。採用されませんでした。今日、振り返る時、ホームタウンチームの多目的スタジアムは必要なことであつたと思います。今、決断する最後の時です。迷いは許されません。 想定は出ませんが、政令市移行後の本市の行政のありようを見てきましたが、人事を筆頭に自らの責務を各局へ転嫁していることが伺えます。企画についても同様と考えられます。 自ら各局を回り足で情報を得て。施策へ進化していく手続きを行っていないように感じられます。 それが本市の肝となるA & Aや相模原駅北口、橋本駅の再整備、淵野辺駅南口リニューアル他について、組織として決することなく、他の組織を設けてその組織の意思決定を市の事業が単に立案する手続き（パブリックコメント）をするだけで、市の意向である市を俯瞰した事業計画を策定できていません。行政として恥ずべき事です。都市計画課、公園課、各施設関係において、望ましい南口のリニューアルと鹿沼公園の施設整備を先導的に協議し、短絡的な地域住民の意向とそれに振り回されている協議会に対し、公的な責任を持つ行政としての経験と知見を持って対峙し、より良い再整備と、市域を、又地勢的な淵野辺の魅力を顕在化するリニューアル計画としなければ、なんちゃって政令市で終わることでしょう。貴組織の取り組み方が将来を決するものです。覚悟を持って取り組むことが必要です。		本事業については、様々な公共施設に関する調整が多岐にわたるなど、事業を着実に推進していくためには、庁内において分野横断的に取組を推進していく必要があることから、政策部門である市長公室が事業の総合的な調整を担っています。 今回、パブリックコメントを実施しているまちづくりプラン（案）については、これまでの大野北地区まちづくり会議や市民検討会等における検討結果を踏まえつつ、「淵野辺駅南口周辺まちづくり連絡調整会議」という庁内検討組織を設け、情報共有を図り、事業全体の調整を行いながら、策定作業を進め、庁議において審議を行い、案として決定しています。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
237	配布されているプランの印刷物について 計画書に使用されている図表やイメージについて、以下の点を改善いただけるよう要望いたします。 1. 視認性の向上 現在のカラーイメージは優しい雰囲気を持ちながらも、情報を正確に伝える視点から見ると、やや見にくいと感じる部分があります。特にモノクロ印刷された場合、ゾーニングの線や色の区別が分からなくなるため、情報が正確に伝わりません。 2. モノクロ印刷への対応 一般に配布される資料がモノクロ印刷であることを考慮し、配色や線の濃さを調整するなど、印刷後も視覚的に情報が正確に伝わるデザインに改善をお願いしたいです。作成中の画面で見るモノクロと、多く配布されるモノクロの印刷物とでは見え方がかなり違ってきます。 3. 市民意見収集の本質的意義 配布されている印刷物がかりかいてできないものだとして「ご意見をお待ちしています」とされているこのプロセスが、形だけの意見収集になってしまうのではという懸念があります。資料作成の段階で伝わりやすさに配慮いただきたいです。これにより、市民が計画内容を十分に理解し、自分たちの声をより確実に反映させる機会を提供できると考えます。		より多くの方に分かりやすい内容となるよう、図表等のデザインについては、工夫してまいります。	イ
238	説明会でのこと 説明会の時に、パワーポイントの資料を使われて、マウスポインタで説明している個所を示していただいています。が、参加されている方たちの様子を見てるとこの説明をしているのかわかりにくく感じているように見えます。 1. マウスポインタの視認性向上 現在のポインタが小さかったり目立たないため、参加者にとって説明箇所が分かりにくい状況があります。ポインタの大きさや色を調整したり、ハイライト機能を活用する、もしくは立って物理的なポインターを使いながら説明するなど、より視認性の高い方法を使って説明をしていただければと思います。 2. 手元資料との同期 出席者が説明の内容を手元の資料と容易に照らし合わせることがしやすいように、ページ番号を明確に示す、資料に対応した説明を進めるなど、説明について来れているかの確認、細やかな配慮をお願いしたいです。特に図などはモノクロ印刷で見えにくくなっているものが多いので、説明されている個所がより分かりにくくなります。		説明会で投影したスライド資料には、配布資料のページ数を記載していたところです。より分かりやすい内容となるよう、工夫してまいります。	イ